

官報

號外

明治二十五年六月一日

水曜日 內閣官報局

第三回 衆議院議事速記録第十五號

明治二十五年五月三十一日(火曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十六號 明治二十五年五月三十一日

午後一時開議

- 第一 明治二十五年年度豫算追加案
- 第二 震災地方租稅特別處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 版權法案 第三讀會
- 第四 政談集會政社法案 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(星亨君) 報道シマス

(水野書記官長朗讀)

貴族院ハ鑛業條例施行期限法律案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨通牒アリタリ

原善三郎君松田源五郎君肥田景之君中澤彦吉君ヨリ 銀行條例改正法律案ヲ提出セラレタリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ取掛リマス

○大坪利晋君(百十六番) 伺ヒマスルガ、昨日高田君ノ遭難ニ附キマシテ議長カラノ御宣告ニ依リマスレバ、政事上ノ關係ヨリ斯ウデアツタ、實ニ遺憾千萬ナコトデ我々議員ニ於テモ實ニ痛歎シタ譯デアアル、就イテハ政事上カラ愈々斯様デアレバ私共ハ今日政府ニ深ク向ッテ要求スルコトガゴザイマスガ、段々今朝開ケバ決シテ政事上ノ關係デナイ、一時ノ私恨ヨリ生ジタノデアアルト云フコトデアアル、果シテ孰カ分リマセヌガ、若シ私恨カラ成立ッタ譯デアリマスレバ、昨日ノ御宣告ヲ御取消ニナリマスカ

○議長(星亨君) 取消デゴザイマスカ

○大坪利晋君(百十六番) 左様

○議長(星亨君) ソレハ往ケマセヌ、私ハサウ云フ風説ヲ聞イタカラ報告シタノデゴザイマス

○大坪利晋君(百十六番) ソレシヤ、昨日ノ報告ノ如クデアリマスカ

○議長(星亨君) ソレハ私答ヘマセウ、昨日ハ其通開イテ居タカラ報告シタノデ、今日如何ダカト云ヘバ、今日ハマダ私ニハ分リマセヌ

○大坪利晋君(百十六番) ソレデ今日ハ分リマセヌト云フ御言葉デアリマスレバ、果シテ分リマスレバ事實上ノコトヲ更ニ御宣告ニナリマスカ

○議長(星亨君) ソレハ議長ハ宣告ガ必要デアレバ宣告スル、必要ガナケレバ宣告シナイ

○大坪利晋君(百十六番) 本員ガ考ヘマス所デハ、實ニ必要ノコト、考ヘマス、政治上ニ關係シタ點デナク、私恨上一時ノ事カラ生ジタト云フコトニナ

衆議院議事速記録第十五號

明治二十五年五月三十一日

議長ノ報告

リマスレバ、満場ノ諸君ニ於テモ大變ナ感覺モ違フコトデ、最前申シマス通政府ニ向ッテ要求シマスコトガアリマスカラ、伺ヒマス

○清水文二郎君(四十五番) 四十五番ハ百十六番トハ趣ヲ異ニシマス、昨日此高田早苗君ノ遭難ニ附イテ見舞ノ禮ヲ議長カラ致サレタノハ謝辭ヲ述ベマス、能ク出来シタ、私交上デアアル、社交上デアアル、同僚ガ此ノ如キ災難ヲ受ケタラ見舞スルハ人情ノ常デアアル、併シ流石ノ議長星亨君ハ井上君ノ遭難ノ時ニナセ此ノ如キコトヲ爲サナカッタカ、此事ハ議長ノ御失錯ト考ヘル

○栗谷品三君(百九十三番) 一言御許ヲ願ヒマス、私ハ今百十六番ノ説ハ尤ト思ヒマス、既ニ昨日議長ハ政治上ノ事トシテ、今ソレニ就イテハ一身上ノ事デア、即チ新聞上ノ事デ、政治上ノ事デハナイ、又昨日ソレニ引續イテ島田三郎君ハ演壇ニ登ラントシタ有様デ、ソレ等ハ議長ガ少シ其邊ノ事ハ能ク御調ガナク、輕卒ナ御報告デアツタト思ヒマス、依ッテ百十六番ニ贊成シテ議長ノ誤ッタコトダラウト本員ハ思フ

○田中正造君(三十一番) 高田早苗君ガ難ニ遭フタコトハ政治上ノ事デナイト云フガ、何等ノ證據ニ依ッテ此ノ如ク明言スルカ、吏黨ノ新聞ヲ讀ンデ此ノ如キ妄想ヲ起シテ言フノデアアルト私ハ思慮スル、夫ノ高田君ノ遭難ノ事ニ就イテハ親シク見舞フテ話ヲ聞キマスレバ、成程二人ノ自首者ガアレドモ自首スル者ハ自首スルコトヲ謀ッタ事デ、新聞ノ取消書ノ草稿ヲ懷ニシテ居タリ、或ハ豫メ破レタ鞘ヲ其處ニ棄テ、置イテ、叩イテ破レタ様ニ見セタリ、或ハ其所ニ持ッテ居タル所ノ刀ヲ三町バカリ提ゲテ逃ゲテ行クノガ警察官ノ目ニ觸レナカッタト云フコトヤ、或ハ其三軒目ノ路次ニ居ルコトガ、凡ソ二時間バカリデアツタト云フコトデアアル近所ノ者ノ申スコトヤ、何カラ聞キマス

○議長(星亨君) 長イコトハ止メテ貰ヒタイ、——今議長ノ處分ガ惡ルイトカ云フコトデアリマスカラ、アナタノハソレデ止メテ下サイ

○田中正造君(三十一番) 私ハ議長ノ……

○議長(星亨君) 私ガ報道シマスカラ、私ハ一寸報道シマスガ、昨日私ノ言ッタルハ其際聞イタ所ヲ以テ述ベタ譯デアアル、其事ガ相當デアアルカ不相當デアアルカト云フコトハ、何モ必要ノナイコト、考ヘル、今日ハ如何ナルコトデア

ルカト云ヘバ、今日モ昨日モマダ分ラナイ、孰レ此事ハ裁判所ニ於テ證據等ヲ調ベタ上、即チ政事上デアアルカ、政事上デナイカト云フコトガ分ル、サスレバ今日喋々論ズルノ必要ハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ諸君ニ御話ヲ致スノハ、今日高田早苗君ノ代理デ、即チ此高木正年君ガ參ラレテ、昨日議會ヲ代表シテ議長ガ人ヲ送ラレタノハ誠ニ感謝ノ至デアアル、而シテ高田早苗君ノ今ノ有様ハ隨分重傷デアアルケレドモ、段々宜イ方ニ向クト云フコトデアリマシテ、此段議場ニ報告シテ貰ッテ、諸君ノ好意ヲ謝シタイト云フコトデ、態々人ヲヨコサレマシタカラ、此段ヲ報道ヲ致シマス

ソレカラ尙ホ高田早苗君ガ負傷ニ附イテ二週間ノ請假ヲ願出サレマシタカ

ラ、是ハ……

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○早川龍介君(三十七番) 三十七番ハ唯希望ヲ述ベテ置キマスガ、此同僚ノ負傷ヲシタ時分ニ、前ニハドウ云フ都合デアリマシタカ、井上氏ノ遭難ノ時ハ一向其事ガアリマセヌ、又今回ノ如キハワレト違フテ格別酷クモアリマスカラ、サウ云フコトノ運ビニモナク、アリアリマセウガ、ドウカ後來斯ウ云フコトガアリマシタナラバ、同僚中ノ遭難ニハ均シク誰ニモ見舞ヲ送ルト云フコトニ爲シ置カレンコトヲ、偏ニ希望致シテ置キマス

○議長(星亨君) 私ハ一寸諸君ニ言ヒマスガ、井上氏ト云フモノハ其日直チニ御出デニナリマシタコトデアアル、且ツ又議長マデ報道ガナイノデアアル、サウ云フヤウナコトデアアリマシタガ、併ナガラウレハサウ云フコトモ尙ホ議長ガ氣ヲ附ケテヤルノガ相當デアルト云フナラバ、ウレハ相當ニ違ヒナイ、違ヒナイカラヤリマセウ、併ナガラモウ既ニ濟シタコトデアリマスカラ、之ガタメニ議長ガ彼ノ派ニ對シテハ厚クシテ、此派ニ對シテハ薄イト云フヤウナ、ウレナ見下ケ切ツタ議長ト思ハル、ノハ大ニ誤ッテ居ラウト考ヘル、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、ウレ等ノ所ハサウ議論ヲ鹿爪ラシクシナイデ、三十七番ガ述ベラレタ希望ヲ、將來ニ對シテアルマイトハ思ヒマスケレドモ、若シアラタナラバ、即チ議長ハ其事ヲ致ス積デゴザイマス

明治二十五年年度豫算追加案

○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマシテ、昨日ノ續ヲ會議ニ付レマス、本日ハ海軍省所管ノ中ノ第六款第一項——朗讀ヲヤリマス

(町田書記官朗讀)

第六款 製鋼所設立費 金九萬參千五百拾六圓

第一項 製鋼所設立費 金九萬參千五百拾六圓

(政府委員海軍省第三局長海軍主計總監本宿宅命君演壇ニ登ル)

○政府委員(本宿宅命君) 製鋼所設立費ニ就キマシテ簡單ニ維持説ヲ述ベマスル、是ハ主査ノ報告ニモアリマスル通、國防上國家經濟上必要ノ事業デアルケレドモ、政府ノ調査ガ不十分ナルニ就キ、尙ホ再調査アランコトヲ望ムト云フ理由ヲ以テ否決サレタモノデゴザイマスガ、昨年ノ議會ニ提出致シマスル節ヨリ政府ハ此製鋼所ハ設立スルモ原料ニ不足ハナク、又其成績ニ於テモ必ズ希望ヲ達スルニ足ルコト、信ジマシテ提出致シタ次第デゴザリマスル、此製鋼所ノ國防上國家經濟上必要ナルコトハ最早御存ジノコト、存ジテ委クハ述ベマセヌ、併ナガラ其中極ク海軍省ニ密接ノ關係ヲ有ッテ居リマスル所ノ軍艦製造ノコトニ於キマシテハ、最モ之ガ海軍省ニ直接ノ利益ノアルコトデゴザイマシテ、唯今外國ニ於テ造リマス所ノ軍艦ハ其代價ハ殘ラズ海外ニ出ルハ勿論デアリマスルガ、内國ニ於テ製造スル所ノ軍艦デサヘモ近來續須賀ニ於テ製造スル所ノ軍艦ニ就イテ、統計ヲ取ッテ精算ヲシテ見マスルニ、

内國ニ於テ軍艦ヲ製造スルトキハ其軍艦ノ入費ノ百分ノ六十五ガ外國ヘ出テ參リマス、殘リノ百分ノ三十五シカ内國ニ殘ラナイ、百分ノ六十五ガ外國ニ出テ仕舞ヒマス、何故ト申シマスニ内國ニ殘ルモノハ、職工ノ給料其外内國ニ於テ用ヲ辨シマスル木材其他雜品ノ類ニシテ、船ヲ組立テル重モナル材料、之ニ載セル所ノ兵器ハ殘ラズ外國ヨリ購求致シマス、製鋼所ヲ設立シテ之ガ出來上ツタトキハ船ヲ造ル材料ハ勿論、之ニ載セル所ノ兵器ノ本トナルベキ製鋼鋼材、ウレガ皆内國デ出來ル様ニナリマスルカラシテ、製鋼所ヲ設置スルトキハ丁度之ガ反對ニナッテ百分ノ七十五ガ内國ニ於テ消費セラレ、百分ノ二十五シカ外國ニ出ナイト云フ様ナコトニナリマス、ウレカラ又軍艦ノ年月——軍艦ヲ製造スル年月ハ中三年ハドウシテモ費ヤス、前後五箇年ニナルト云フヤウニ長クナリマスノガ、是モ製鋼所ノナイ所以デアリマス、此製鋼所アラテ造船ノ材料ニ適スル鋼材ノ製出スルトキハ造船ガ早クナリマシテ、二十箇月乃至三十六箇月位ニ落成スル様ニナルコトハ疑ノナイコトデゴザリマス、又其原料ニ於キマシテモ最初提出ノトキヨリシテ釜石ニ派出ヲ致シテ居ル技師ノ報告ニ依レバ、既ニ速記録ニ於テモ御覽ニナリマスル通、多量ノ鑛物ガ存在シテ居ッタ、六百何十萬噸ト申ス銑鐵ヲ得ルニ容易イコトデゴザリマスカラ、是ハ國家必要ノ事業デアルト云フコトヲ能ク御熟慮下サレテ、原案ニ復セラレンコトヲ希望致シマス、速記録ニ於テ御覽ニナリマスルト、後ノコトハ分リマスカラシテ、原案ニ贊成アラント云フ偏ニ希望致シマス

○早川龍介君(三十七番) 本員ハ此項ヲ一體豫算委員デ削除シタト云フノハ甚ダ奇體ナ……

○議長(星亨君) 反對デスカ

○早川龍介君(三十七番) 原案ニ贊成デス……

○議長(星亨君) サウスルト外ニ通告ガアルダラウカラ……

(大垣兵次君演壇ニ登ル)

○大垣兵次君(三百七十八番) 此製鋼所設立費ニ附キマシテ、既ニ委員會ニ於テモ削除ニナッテ居リマス、其削除ノ精神ト云フモノハ十分ナ取調ヲ願ッタ後ニ贊成スルト云フ程ノ削除ノ仕方デゴザリマスデ、成程緻密ノ調査ヲ請ヒマスコトハ本員ト雖モ實ニ希望スル所デゴザリマス、併ナガラ其調査ト云フコトニ至リマシテモ中々一朝一夕ニ、御満足ノ調査ト云フモノハ到底出來マイト考ヘテ居リマス、今日我國ノ形勢上カラ考ヘマシテモ、此製鋼所ト云フモノハ最モ必要ナモノト本員ハ考ヘテ居リマス、ウレデ或ハ此項目ニ附イテハ餘程感情ヲ損ナッテ居ルコトガゴザリマス、此數年前日本ニ少ナナル製鐵所モアリマシタケレドモ、ウレガ政府ノ都合ニ依ッテ止メルコトニナリマシタ、ウレカラ今又此製鋼所ヲ設立スルト云フ様ナコトハ甚ダ宜シカラスト云フ論者ガ往々アリマシタ、新聞上ニモアリマス、演説ニモアリマス、諸君ノ中ニモ大ニ論セラレタ方モゴザリマス、是ハ一應尤デゴザリマスガ、其時分ノ形勢ト今日ノ形勢トハ雲泥ノ違ノアリマスコト、本員ハ確信致シマス、

此製鋼所ト言ハマスモノヲ豫算委員會ニ於キマシテ御取調ニナツタ、其報告ニ依ツテモ明ナルコトデゴザリマスガ、鐵道ノ諸器具、れ一するソレ程ノモノヲ製造致シマスコトデ、諸君モ御熱心ニナツテ居リマス、鐵道ト云フモノモ是迄ノヤリ方トハ誠ニ一層進シテ擴張ナサレマスルコトハ、先程政府委員モ申サレマシタ通、外國ニ總テ仰グト云フコトハ誠ニ殘念ナコトデゴザリマスト考ヘマス、又是カラ支那ノ事情ヲ聞キマシテモ、是迄支那ハ餘リ鐵道ニハ十分ナカラ入レマセヌ都合デゴザリマシタガ、ソレデスラモ餘程鐵具ハ、餘程外國ヨリ、西洋諸國ヨリ招イテ居ル次第デゴザリマス、ソレカラ聞ク所ニ依リマスル、支那モ矢張東洋ノ大國デゴザリマス、最モ世界デノ大國デゴザリマス、鐵道ノ布設ト云フコトハ是カラ著々歩ヲ進メルト云フ程ノコトデゴザリマスカラ、必ズ此大國ノ鐵道ヲ布ク場合ニハ中ニ此製鐵ト云フモノハ必要ノモノデゴザリマス、之ヲ遠ク歐羅巴亞米利加ノ邊カラ引キマスレバ、運賃上ニ於テモ誠ニ大ナル費用ヲ西洋其他ニ拂フ譯デゴザリマスカラ、日本ニ於テ此事ヲヤリマシタナラ誠ニ國益上言フ可カラザルモノデアリマセウト存シテ居リマス、試ニ日本ガ是迄此鐵道其他ノモノニ附イテ鐵類ヲ購求致シマシタルコトハ、或ハ明治二十二年ニ於テモ百四十二萬千七百八十何圓ト云フモノヲ買入レテ居リマス、二十三年ニ於テモ百十三萬千七百八十何圓ヲ買入レテ居リマス、ソレカラ年鑑表ニ附イテ調ベタルデアリマスガ、支那ニ於テモ四百三十六萬千七百八十何圓ニ於テ買入レテ居リマス、誠ニ唯政府ガ國庫ニ於テ營業ヲスルト云フコトハ、固ヨリ好マヌコトデゴザリマスケレドモ、我日本ニ於テ海軍ノ事デアレ、又鐵道ノ事デアレ、著々歩ヲ進メテ是程ノ擴張ヲスルト云フ場合ニ至ツテハ、此製鋼所ト云フモノ、必要ト云フコトハ私ガ喋々ヲ用井メシテ分リ切ツタコトデアリマス、ソレ故ニ私ハ不辯ヲ願ミズ、此項ニ附イテハ原案ヲ贊成致シマスモノデゴザリマス

○議長(星亨君) 十二番 十二番ハ居ナイカ、三十七番

○早川龍介君(三十七番) 反對者ハナイ様デゴザリマスカラ、別段多辯ヲ要スルコトハナイ、モウ反對者ガナケレバ討論終結デ宜シ

○渡邊洪基君(四十一番) 私ハ固ヨリ製鋼所設立ノコトニ贊成デアリマス、決シテ唯今日思付キノ話デハナイ、此事ニ附イテハ實際四年程前カラ考ヘマシテ實際調ベタルコトモアリマス、是ハ是非成立シナケレバナラヌト考ヘマス、不幸ニシテ委員說ニ於テハ否決ニナリマシテ、甚ダ殘念デアリマス、依ツテ之ヲ贊成シテ復舊ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) モウ大抵御議論モナイ様デスカラ……

○江原素六君(百七番) 議長

○議長(星亨君) マダアルデスカ

○江原素六君(百七番) (江原素六君演壇ニ登ル)

○江原素六君(百七番) 本員ハ此製鋼所ノ事ニ附イテハ豫テ熱心デアリマシタモノデス、既ニ昨年アタリノ自由黨ノ黨議ニモ製鋼所ト云フモノハ、利益

上ニ關係セズ國家ヲ守ル所ニ利用スル、利益ノ有無ニ關ハラヌト云フコトハ既ニ論ジテ置キマシタ、故ニ製鋼所ト云フモノハ徹頭徹尾贊成ヲシテ置キマシタガ、併ナガラ委員會ノ報告ニ依リマスルコト云フト、マダ極ク調査ガ不調ベデアル、故ニ其調査ノ稍、満足スル所ノ報告ヲ俟ツテ之ヲ贊成スルト云フ報告ガゴザリマシテ、私ハ大ニ満足ヲ致シマシタ、今ドナタデスカ發論者ハ頻ニ其支那ヘレハ送リ出ストカ云フ様ナコトヲ言ハレマシタガ、果シテサウ云フ目的デ贊成スルナラバ此製鋼所ハ甚ダ困ツタモノデアアル、果シテ商業上ニ利益アルヤ否ヤト云フ様ナ事ハ當局者ト雖モソレハ請合ハナイ、故ニ當局者ノ製鋼所ヲ立テル意思ト、贊成者ノ意思トハ九デ違ッテ居ルデス、本員杯ガ製鋼所ヲ必要ト云フノハ國家ノタメニ、即チ兵器獨立ノタメニ、必要ト云フ點カラ、利益ノ有無ニ拘ラズ時ガ有ツタラ贊成シヤウト云フノデアアル、營業上カラ贊成スルト云フナラバ、餘程利益ノ有無ヲ考ヘネバナラス、甚ダ無益ナ——當局者ノ提出サレタル趣意ト違フデアラウト思ヒマス、今俄ニ此事ヲ贊成ヲセズトモ此大國會期マデ十分ニ調査シテ、而シテ後ニ立派ニ贊成シタ所ガ決シテ國家ノタメニ時機ヲ後ル、譯デハ少シモ無イデアラウト思ヒマス、昨日ハ軍艦ノ製造デスラ既ニ否決ニナツテ仕舞ツタノデアアル、其否決ニナツタ爲替金ノタメニ此案ガ通過スル様デハ誠ニ不都合ナコト、思ハナケレバナラヌデス、故ニ暫クノ間ハ調査ヲ十分ニ遂グルマデ昨日ノ委員會ノ報告ノ通、今回ハ之ヲ否決スルコトヲ望ミマス

○議長(星亨君) 議論ガ盡キタ様デスカラ、決ヲ採リマス、即チ茲ニ原案ト云フモノト削除說ト二ツ成立ツテ居ル、然ラバ例ニ依ツテ原案ニ附イテ決ヲ採ル、原案ニ附イテ決ヲ採ル以上ハ、削除說ノ人ハ立タナケレバ宜イ譯デアアル、ソレニ附イテ決ヲ採リマス、然ラバ原案ニ贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、然ラバ原案ハナクナリマシタ、サウスルト本日ノ海軍所管ノ總テハ削除ニ極マリマシタ、左様御承知ヲ——是ヨリ次ノ司法省所管ニ移リマス

(町田書記官朗讀)

司法省所管

第二款 營繕費 金五萬六千參百七圓四拾五錢參厘

第二項 震災新營費 金參萬四千參百七拾貳圓五拾七錢參厘

第三項 火災新營費 金貳萬四千八百五拾圓參拾八錢

第四項 震災修繕費 金八拾四圓五拾錢

○湯淺治郎君(百二十番) 司法省所管ノ修正案ニ附イテ主査ノ報告ヲスル答デアリマスルガ、格別ナ修正モアリマセヌ、別ニ其報告ノ御報道ハアルマイト思ヒマスカラ、故ニ其報告ハヤメマス、併ナガラ若シ此修正ニ就イテ反對ガゴザイマシテソレニ贊成者ガ多イヤウナ模様デアリマスレバ、委員會ノ精神ヲ御報告致シマセウ

○政府委員司法次官三好退藏君演壇ニ登ル

○政府委員(三好退藏君) 唯今議題トナテ居リマスル司法省ノ所管第二款營繕費ノ豫算追加ノコトデアリマスガ、此營繕費ノ中第二項ノ震災新營費及第三項ノ火災新營費ニ就キマシテ、豫算委員ニ於テ一割及一割以内ノ削減ヲ加ヘラレマシタ、固ヨリ僅ナ削減デアリマスルカラ格別影響モアルマイカト信ジマスルケレドモ、固ヨリ節減ヲ目的トシテ豫算ヲ致シマシタノデアリマヌル故ニ、尙ホ此上一割乃至八分ノ間ヲ削減シマシタ時ニハ、或ハ設計ノ上ニ就イテ幾ラカノ變更ヲ來スコトガアルカモ知レマセヌ、其事ハ申迄モアリマセヌケレドモ、此所デ一應申述ベテ置キマス、諸君ノ御承知アラシコトヲ希望シマス、ツレニモウツ申述ベテ置キタイノハ、岐阜地方裁判所管内ノ大垣區裁判所外出張所三箇所ノ官舎新營ノコトデアリマスル、此官舎新營ノ費額ハ豫算委員ニ於テ全ク削減サレマシタ、其削減セラレマシタル理由ハ細カニ承知致シマセヌガ、唯當局者ニ於テ尙ホ此議場ニ申述ベテ置キタイノハ、目下美濃地方ニ於テ特ニ大垣ニ於キマシテハ、震災後餘程困難ノ模様デアリマシテ、借家ヲ建築シテ居ル者ガ誠ニ少ナイ趣ニ聞キマシタ、勿論追々貸家ヲ建テ、居ル者モアルサウデスケレドモ、僅カ窮民ノタメニ貸家ヲ設ケテ居ル者ノミデアツテ、裁判所ノ官員等ガ住居致スニ堪フルヤウナ貸家ハ殆ドナイト云フテモ宜シイ位ノ趣デアリマス、餘程目下官員ノ住居致シマスル有様ハ誠ニ見聞ニ忍ビザルノ有様ノ様子デアツテ、數家内同居ヲ致サナケレバナラヌヤウノ模様ニ聞エマス、其故ニ今日ノミナラズ、マダ數年ノ間完全ナル貸家ヲ得ルコトハ見込ガナイト云フ報告ガ近日參ッテ居リマス、ノミナラズ裁判所ノ檢事トカ判事トカ或ハ書記ト申シマスルモノハ、成ルベク一般人民ト同居致サセヌヤウニスル方ガ職務上ノタメニモ餘程好マシイコトデアリマス、故ニ此官舎新營費ハ此際原案要求ノ通ニ恢復セラレンコトヲ希望致シマス

(決ヤト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) モウ別ニ御議論ガナケレバ決ヲ採リマス、決ヲ採ルニ當ッテハ二款ノ第二項三項ト云フヲ以テ先ヅ決ヲ採リマス、即チ此三項ニ就イテ修正說ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 大多數ト認メマス——ツレカラ第四項ハ原案ノ通デ修正モ別ニゴザイマセヌガ、御異議ガナケレバ即チ確定致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 然ラバ則チ司法省所管ハ即チ今採ッタ如ク可決シマス、是ヨリハ文部省所管ニ移リマス朝讀ヲ致サセマス

(町田書記官朗讀)

第二款

震災豫防調査會設備費 金四萬貳千六拾貳圓

第一項 器械費

金參萬圓

第二項 新營費

(太田實君演壇ニ登ル)

金壹萬貳千六拾貳圓

○太田實君(百四十番) 此文部省所管ノ第二款震災豫防調査會設備費ハ素ト此起リヲ能ク委員會ニ於キマシテ當局者ニ質シマスノニ、是ハ昨年ノ貴族院ノ建議ニ依ッテ此結果トシテ此豫算ガ現ハレタト云フコトデゴザイマス、宛モ本院ニ於キマシテカラニ彼ノ河川調査費ガ湯本君ノ建議ニ依ッテ現ハレテ即チ本院ニ於テ可決シタト同一ノ性質ノ成立チデゴザイマス、然ルニ豫算委員會ニ於テ今斯ノ如キ事業ヲ爲サズトモ學者ニ委ネテ十分デアルト云フ極ク單純ナル理由ヲ以テ削減ヲサレマシタ、本員ハ豫算委員ノ一人デゴザイマシテ、此修正案ニ對シテハ不同意デハゴザイマスルガ、悲イカナ三分ノ一ニモ足りマセナシタカラ、此委員トシテハ報告ハ致シマセヌガ、茲ニ一己ノ資格ヲ持チマシテ一己ノ議員トシテ修正案ニ反對ヲ致シマスデゴザイマス、ツレデ此地震ノ本邦ニ多イ國柄デアルト云フコトハ、自分ガ敢テ喋々セズトモ諸君ノ御承知ノ如ク、四十年乃至六十年ニ大地震ガアルト云フコトハ世ノ中ニ明ナル事柄デゴザイマス、而シテ此地震ノコトニ就イテハ研究ハ稍々進歩シツ、アルト云フコトハ、是又世界中學問上ノ發達上カラ言フテモ、殆ド世界ノ學問ノ位置ニ於テモ本邦ガ第一ニ居ルト云フテモ宜シイ場合デゴザイマスル、併ナガラ斯ノ如キ地震ノ研究ノコトノ如キハ一己ノ學者ニ委シテ決シテ是ハ十分ナル目的ヲ達スルコトハ出來ルモノデナイ、必ズ國土人命財產ヲ保護スルコト云フ上ニ往ッテ國家ノ事業トシテ、斯様ナコトハ十分助ケテ、十分調査致スノ必要アルコトハ明カデアアル、決シテ輕々ニ看過スベキコトデハナイ、即チ近クハ當院ニ於テモ此頃來其經費ニ就イテカラニ種々御議論アル岐阜愛知ノ震災ノ如キ、今少シ遠キハ盤梯山カ或ハ熊本ノ地震トカ、隨分頻頻近年國家ノ財產及人命ヲ無クシテ居ルコトハ少ナクナイコトデアアルカラ、國家ガ國土人命財產保護ノ點ニ至テハ十分出來得ベキ限り、調査シ出來得ベキ限りハ豫防スルガ當然デアアル、此事柄ニ就イテハ即チ茲ニ案ガゴザイマスガ、昨年貴族院ニ於キマシテカラ既ニ建議ニナツテ居リマスルカラ、成ルベク其方針ヲ執ルコトヲ我々ハ努メンナラヌコトデアアル、此建議ノ要旨ハ詰リ火山ノ作用ニ因ッテ果シテ此地震ガ多イカ、或ハ地層ノ變化ニ因ルカ、又ハ之ニ隨伴スル現象ハドウデアアルカ、又ハ地震ノ多イ土地ハドウデアアルカト云フ事柄ニ就イテ、之ヲ大目的トシテ調査スルコト云フ建議ノ趣意デアアルサウデゴザイマス、サウシテ此又今一ツニハ國土保護ト云フ上カラノ必要モアル、又他ノ一方ニ於テハ國家ノ交際上ニ於テ光彩ヲ輝スト云フ點ニ於キマシテモ、從來學問ハ外國カラ輸入シテ何事ノ學問モ外國ノ輸入ヲ受ケテ居ルガ、國光ノ發達上カラ云フテモ斯ノ如キコトハ世界ニ對スル義務トシテモ發達サセネバナラヌ必要ガアル、ツレ等ノコトハ學問ノ世話ヲ燒イテ贅澤ヲスルニ及バヌト云フテモ、本院ト貴族院トノ關係カラ、折角貴族院デ大多數ヲ以テ決議セラレ、其決議ガ即チ政府ヘ建議トナリ、政府ガ其建議ヲ容レテ豫算トナツテ居ル以上ハ、ドウカ本院ニ於テモ理屈ハ暫ク擱イテ貴族院

ニ對スル政治上ノ德義ニ於テ、著キ不都合ノナイ以上ハ、原案ヲ通過センコトヲ希望致シマス、サウシテ委員會ノ組織ハ政府ニ當局者ニ質問致シマシタガ、宛中中央衛生會ヲ組織スル如キ會ヲ起シテ、ソレニ對シテ經費ガ幾ラ要ルト云ヘバ、大凡二三萬圓ハ年々ニ要ル積アルト云フコトヲ、是ハ併シ唯政府委員式ノ豫想アルト云フコトヲ述ベラレマシタガ、其組織如何ニ就イテハ何レ次ノ會期ニ於テカラニ經常費ノ豫算ヲ提出セラレタトキ、十分組織ハ如何様トモ議サレルカラ、兎ニ角設備費ニ致シマシテモ器械費、此器械ハ一朝一夕ニ本邦デ調フモノデモナイ、或ハ英國ニ或ハ米國ニ注文センケレバナラヌ器械アルカラシテ、如何ナル方法ヲ以テ調査會ヲ組織スルトモ是丈ノ器械ヲ備ヘルト云フコトハ、今日カラ準備スルガ甚ダ必要ナリト思ヒマスカラ、文部省所管ノ第二款震災豫防調査會設備費ニ限ッテハ、豫算委員デハゴザイマスケレドモ偏ニ修正案ヲ排除シテカラニ、原案ニ復サレンコトヲ希望致シマス

〔政府委員文部次官辻新次君演壇ニ登ル〕

○政府委員(辻新次君) 諸君、文部省ノ第二款震災豫防調査會ノ設備費ノコトデゴザイマス、唯今百四十番ハ豫算委員會デ削除シテアルノニ拘ラズ原案ニ復サル、ノ贊成ガゴザリマシタ、此事ハ必ズ滿場ノ諸君ニ於テモ御贊成ニナルコトハ、存シマスルケレドモ、(笑聲起ル)昨日以來ノ、狀勢ヲ察シマスル所ニ依リマスレバ、兎角豫算委員會ノ修正案ガ成立ツ傾ガアリマスカラシテ、中ニ油斷ガナリマセヌカラシテ、(笑聲起ル)本官一言ヲ費サナケレバナラヌ場合ニ至リマシタ、併ナガラ震災ノ如キ事ヲ彼是辯スルニハ及ビマスマイ、唯今百四十番カラ述ベラレタ如ク、實ニ震災ノ甚シキコトハ國土ヲ破壊シ人命ヲ害ヒ財産ヲ失フ、實ニ此上ナイコトデゴザリマセウ、殊ニ近年ハ弘化四年ノ信濃ノ大震、安政二年ノ江戸ノ大震、引續キマシテ段々何ノ山ノ崩レマシタ事ダトカ、ソレカラ(笑聲起ル)岐阜愛知ノ、又近頃ノ事ニ至リマシテハ、最モ甚ダシイコトデアリマスカラシテ、震災ノ甚シキコトハ別ニ喋々申述ベル迄モゴザリマセヌシ、又實ニ國人ガ震災ヲ恐レテ居ルコトハ、三歳ノ兒童モ地震、雷、火事、親爺トサヘ申ス位デアリマスカラシテ、(笑聲起ル、無用々々ト呼ブ者アリ)最早震災ノ恐レベキト云フコトハ喋々辯ズルヲ要シマセヌガ、事實ノ上デ此震災ノ豫防ノ事ハドウデモヤラナケレバナリマセヌデ、則チ必要デアル、又之ヲ審查シタ以上ハ其審查ヲシタ丈ノ結果ハ見ユルダラウト云フコトヲ一言申述ベタイト思ヒマス、ソレデ之ヲ審查スル要點ハ何處ニアルカト申シマスレバ、ドウ云フ材料ナラバ地震ニ耐ヘ様トカ、ドウ云フ建築ノ構造デアッタナラバ其震動ニ耐ヘ様トカ、又建築ノ工合デハ其震動ヲシテ幾ラノ輕減ヲスルコトガ出來ヤウカ出來マイカ、ソレカラ又何レノ土地、ドウ云フ様ナ地盤デアアルナラバ地震ノ震動ガ少ナカラウトカ、又何レノ地方ニハ一體震災ガ多カラウトカ、震災ガ少カラウトカ、其他種々アリマセウ、又ズッ進ンダナラバ幾分カ地震ヲ豫メ則チ豫知スルコトガ

出來ヤウカ、ドウダラウカ、デスノ如キコトヲ取調ベマスルニハ先ヅ凡ソ地震學者ハ申スニ及バズ、物理學者地質學者土木工學者建築學者其地震ヲ調査スルニ當ッテ、然ルベキモノヲ集メテドウ出ルル丈ノ取調ヲシテ見ヤウト云フ譯デアリマス、ソレカラ又此事ハ唯今日全ク新規ニ始メルト云フノデハアリマセヌ、一方ニハ理科大學デハ地震學科ヲ設ケテアリマシテ、是デ常ニ地震ノ事ヲ學理上ニ取調ベテ居リマス、ソレカラ又前年地震ニ關係致シマシタ所ノ建築上ノ事ニ就キマシテハ、既ニ多少手ヲ著ケタコトガゴザリマス、ソレハ成ル可ク本會ニ唯今議員デ居ラレマス所ノ渡邊君ガ御述ベニナッタラ、尙ホ私ヨリ明瞭デアリマセウ、渡邊君ガ帝國大學總長ノ時デアリマシタ、同君ガ委員長デ幾ンカ地震ト建築關係ノ事ヲ取調ベマシタ(簡單々々ト呼ブ者アリ)未ダ悉クドウ云フ方法ヲ用井タナラバ宜イト云フコトハスツカリ此處ニ舉ッテ居リマセヌガ、併ナガラ其時ノ様子ヲ見マスルニ、幾分力取調ノ口ト云フモノ、見ユル位ノコトハ明言シテモ宜カラウト思ヒマスカラシテ、唯今本官ガ此事ニ取掛リマシタナラバ、ドウナリ爲シ得テ結果ヲ見ルコトガ出來ヤウト云フコトノ證明ニ、今ノ事ヲ一言申シテ置キマシタ、處デ從來フ有様ヲ見ルト云フト、三十四年ノ間ニハ是迄ノ經歷ニ徴シマスルト云フト、大震ノアルコトハ免レマセヌカラシテ、ドウゾ再ビ若シ是ガ來ルモノト豫想スルコトデアアルナラバ、今日此事ヲ研究シマスル必要ハ誠ニ明ナコトダラウト思ヒマスカラシテ、殊ニ費用ノ點ニ至ッテモ格別ノコトハアリマセヌ、今申ス通ドウガナ成功ヲ見ルコトガ出來ヤウト思ヒマスカラシテ、旁、ドウゾ原案ノ如ク可決アラフコトヲ希望致シマス

○内藤利八君(十一番) 豫算委員會ニ於テ岐阜愛知兩縣小學校設立費補助ノコトニ就イテ本員ガ段々……(第一款デスト呼ブ者、マダ……ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 未ダ其所ニハ往キマセヌ、第二款ノ處ヲ遺ッテ居リマス

○今井磯一郎君(百九十番) 此文部省所管第二款ノ震災豫防調査會ノ事ニ就キマシテハ豫算會ノ意見ヲ報道シヤウトスルニ當リ、百四十番ガ……之ニ反對ノ意見ヲ陳ベマシタ、就キマシテハ其削除スベキ理由ヲ陳ベキガ當然デアリマス、ガ此削除スベキ理由ト云フモノハ、實ハ豫算會議ニ於キマシテモ餘リ深シイ理屈ガアッテ茲ニ至ッタモノデハナイ、唯其要領ヲ陳ベマスレバ、斯ノ如キ組織デ以テ此調査會ヲ起スモ詰リ其效ヲ奏スルコトハ覺束ナカラウト云フコトハ、又一ツハ此事柄ハ隨分長イ年月ヲ經ヌケレバ之ガ試驗ヲスルコトガ出來ヌ、詰リ長イ事業デアアル、其長イ事業ヲ此特別會ニ於テ勿々ノ際之ヲ議決スルト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得タモノデハナイト云フ事柄ヲ以テ之ヲ否決シタノデ、絶對的ニ今文部次官ガ言ッタ通り地震、雷、火事、親爺ト云フ様ナコトカ起ッテモ構ハナイト云フカ如キ筈棒ナ考ヲ以テ、之ヲ否決シタ譯デハナイ、唯此調査會ヲ起サヌナラバ今少シ鄭重ニ之カ調査ヲ……起スベキ調査ヲ、モウ少シ丁寧ニシテ出サンケレバ駄目デアアル、斯ウ云フコトデ否決シタデス

(早川龍介君演壇ニ登ル)

○早川龍介君(三十七番) 本員ハ簡單ニ陳ベマス、矢張地震ノ一件デドウカ(モウ宜カラウト呼ブ者アリ)少シ拙者ノ考デハ是非共此頃ハ豫算會デ廢除セラレタノヲ原案ニ復シタイ考デス、ソレハ今本員ノ席ノ側デ鈴木君杯ガ若シ地震ガ怖イナラバ、人ヲ殺ス豫防カラ一ツ先キニ考ヘタラ宜カラウト云フ話モアリマシタガ、サウ云フコトハサテ置キマシテ、實ニ此地地震學ト云フモノハ世界ノ甚ダ研究スルコトハ困難ナルモノニシテ、歐羅巴等ニハ甚ダ少ナイ、固ヨリ之ヲ研究シヤウトスルナレバ、實地ニ此事ノアル地方ニ來タツテ、サウシテ十分ニ震災ノ試驗ヲシナケレバ出來ナイモノデアル、且此頃ヨリ審査會デ此事ヲ否決ヲ豫算會デ否決ヲシマシタ事柄杯ヲ聞キマスレバ、極此地層ヲ長ク掘テアルトカ、丸デ小供ノヤル様ナ馬鹿々々シイコトヲスルノダカラ、ソナナ事ハ有用デナカラウト云フヤウナ事ノヤウニ聞イテ居マス、ケレドモ凡ソ學問上ノ事ヲ何ヲ發明シマスニ就キマシテモ、大抵サウ始マリカラ完全ナコトガ分ッテ——理屈カ分ッテ居レバ研究スル必要ハナイガ此經費ハ僅ニ四五万ノ金デアリマスケレドモ、是ハ中々大事業デアリマスカラシテ、或ハ當年或ハ來年ト僅ニ二年三年ノ研究デ、之ヲ豫メ豫知スルカ知リマセヌケレドモ、若クハ十年ニシテモ十五年ニシテモ十分ニ此事ニ熱心ニ心ヲ注イデカラニ、サウシテ此事ヲ發明シマシテ若シ此震災ト云フモノヲ豫知スルコトガ出來マシタナラバ、實ニ此世界ノ上ニ於テ大變ナ利益デアラウト考ヘマス、丁度昨年震災地ヘ私ハ出張シテ實況ヲ見ニ參リマシタ時分ニ、愛岐二縣ノ震災ノ慘狀ハ申スマデモナイ事柄デシテ、若シ此事ヲ豫知セラル、コトガ十年二十年先キニ至リマシテモ出來マシタナラバ、大層ナアレ程大變ナ人命ヲ殺サンデモ宜シ、若クハ貴重ノ財産ヲ幾分カ之ヲ保護スルコトガ出來ルデアラウト考ヘマス、已ニ又或論者ハ此事ハ學者ニ任カシテ置ケバソレデ宜シイ、何モコンナ事ニ錢ヲ使フコトハ要ラヌト云フコトデアリマスルガ、併シ是迄デモ任セナイデモ熱心ナ人ハ——私ハ能ク存ジナイガ、大學校ノみをとる、みるん氏、又日本人デモ關谷某ト云フ人ハ自分ノ資産ヲ擲チ追テ研究シテ居リマシタ、ケレドモ是ハ大事業デアアルカラ一己ノ人ガ自分ノ錢デ遣リ盡スト云フコトハ到底出來ヌコトデアラウト思フ、僅々此位ノ資金ハ日本ノ國庫ノ上カラ支給シテモ、此事ノ研究ヲ與ヘルト云フコトハ、實ニ日本人カ世界ノ人ニ對シテ一ノ學問的ノ義務デアラウト思ヒマス、尙又貴族院ガ凡テ之ヲ遣ッタカラ是非贊成セナケレバナラヌト云フコトハアリマセヌ、ケレドモ、詰リ此事ハ政府ガ元來考ヘ附イタコトデハナイ、昨年十二月十七日ニ於テ貴族院ノ菊池君ノ發議ニ依ッテ建議セラレテ、遂ニソレガ本年此處ニ出タ譯デアアルカラシテ、ドウカ此事ハ偏ニ原案ニ復シテ、サウシテドウカ震災ノ多イ日本ニ於テ、ドウカ此事ハ偏ニ原案ニ復シテ、サウシテドウカ震災ノ多イ日本ニ於テ、ドウカ此事ハ偏ニ原案ニ復シテ、サウシテ若シ之ガ十分ナ研究ガ附キマシタナラバ、世界ノ上ニモ一ツ利益

ヲ與ヘ、日本ノ光榮ニモナルコトデアラウト思フ、長クハ述べマセヌガ、ドウカ、偏ニ復舊センコトヲ希望ニ耐ヘマセヌ

○川島宇一郎君(二百二十六番) 本問題ニハマダ通告ガゴザリマスカ

○議長(星亨君) マダアリマス

(渡邊洪基君演壇ニ登ル)

○渡邊洪基君(四十一番) 唯今ノ文部省所管ノ第二款ノ震災豫防調査會設備ノ事ニ就キマシテ、一言諸君ニ實際ノ事ヲ御話シテ御贊成ヲ請ヒタイと思ヒマス、此震災ノ事ニ就キマシテハ既ニ此磐梯山ノ破裂ノズット前ニ、即チ明治二十一年ニ於キマシテ、ソレ迄ハ一ノ——今申サレタ所ノ——三十七番ノ申サレタ外國人ノみるんとカ、或ハ關谷清景即チ「キヨカゲ」ト云フ理學博士ト云フ様ナ人丈デ調べテ居リマシタ、其時分ノ調ノ結果ニ依リマシテ、此地震ノ事ヲ是非調ナケレバナラヌ、ソレカラ特ニ建築上ノ事ニ附イテ最モ注意ヲ要スルコトガアルニ由ッテ、其委員ヲ一ツ特別委員ヲ設ケルガ宜イト云フコトニ決議致シマシテ、即チ本員ガ帝國大學總長タル時分ニ外ニ又地震學會ト云フ者ガ出來マシタ、ソレカラ造家學會工學會等ノ人ニカラシテ、專門家ヲ——ソレ——ノ專門家ヲ召集致シマシテ、實ニ此時ハ如何ニモ一文モ國庫カラモ貰ハズ、何モセズシテ唯遣リマシタ、遣リマシテ其調べタ結果ガ諸君ハ御存ジガナイカ知ラヌガ、地震學會ノ報告書ト云フ者ニ餘程精イモノヲ段々調べテ出シマシタ、段々遣ッテ見マシタ所ガ、ドウシテモ大學ノ費用ヲ成丈節減シテ機械ヲ購入シ、大學ノ中ニ地震學室ヲ置イテ、諸君モ御出ニナレバ分リマスガ、大分機械ヲ集メマシタデス、ソコニ一ツ置キ、ソレカラ麻布ノ天文臺ノ所ニモ少シバカリ機械ヲ置キマシタ、サウシテ段々調べマシタ、調べマシタ所ガドウシテモ唯一箇所ニ機械ヲ置イタノミデハ十分調ガ附カヌ、——茲デ學術上ノコトヲ長タラシク申スノハ可笑シウゴザイマスガ、毎日アル地球ノ微動ガアル、其微動ガ地震ニ就イテドウ云フ變化ガアルベキデアアルカト云フコトモ一ノ大問題デアアル、ソレモ一ツ測ル機械ガナケレバナラヌ、大學ニハ一ツアリマス、ソレカラ又磁石力ノ變動モ甚シイモノデアアル、今度既ニ岐阜愛知ノ震災地ニ參リマスル、其前ニ磁石力ノ差ヲ調べマシタ、大學ハ調べマシタガ所ガ、非常ノ變動ヲ來シテ、シテ見レバ是又地震ノ前ニ既ニドレカ差ヲ生シテ居ッタカモ知レナイ、斯様ナコトハ幾ツモゴザイマス、ソレ等ハ皆機械デ學術的ニ調ヘルノ外ニ仕方ガナイモノデアリマス、唯土地ノ言ヒ習ハシトカ、古老ノ言フタコトモ多少參考ニナリマス、ケレドモ精密ノ調ハ機械ニ依ラナケレバ出來ナイ、其機械モ一箇所ニ於テ調ベラルト云フ譯ニハ參ラヌ、相當ノ所ニ取付ケナケレバナラヌ、是即チ機械費ヲ要スル譯デアアル、若シ學者ガアツテ熱心ノ人ガアツテ之ヲ調べルニ致シマシテモ、トデモ機械ナシニハ出來ナイ、又機械ヲ置ク處ガナケレバ固ヨリ出來マセヌ、最モ此事ハ唯今申上ゲル通震災豫防調査會ト云フモノヲ設ケマシタカラトテ金ガ要ル譯デハナイ、皆銘々各職ヲ持ッテ居ル建築學者其外ノ人

ガヤルコトデアリマスカラ、其方ニハ金ハ要リマセヌガ、機械ト調ヘル場所
ガナケレバ一步モ進ムコトハ出来ナイ、依ッテ幾ラカ若シ議會ニデモ居リマ
シタナラバ、本員カラモ實ハ建白デモ致シテ、文部省ガ出サヌケレバ、建白
デモ出シタノデアリマス、アリマシタ所ガ其方ノ委員ノ、私ガ委員長ノ時分
ニモ委員デアッタ所ノ理科大學長ノ菊池博士ガ元老院——元老院デハナイ、

貴族院デ以テ建議ニナツテ文部省ガ此案ヲ提出シタ譯デアル、蓋シ文部省デ
ハ建議ガナクテモヤラナケレバナラヌコトデアッタラウト思ヒマス、就キマ
シテハ是ガ年々歳々斯ノ如キ金ガ要ル譯デハナシ、唯一時人ヲ學術的ノ調査
ノタメニ勸カセル所ノ道具デアル、其道具ヲ與ヘズシテ調ベタ所ガ無駄デア
ル、又調ヘルコトハ要ラヌト云フ人ハ滿場諸君ノ中一人モアルマイト思ヒマ
ス、シテ見レバ第二款ノ震災豫防調査會ト云フコトノ必要ナルコトハ諸君モ
御承知デゴザイマセウ、其機械ヲ與ヘナケレバナラヌ、場所モ與ヘナケレバナ
ラヌト云フコトハ唯今申上ゲタルコトデ御承知ト思ヒマス、百九十番デアリ
マシタ短期ノ議會ニ於テハ是ハ必要デナイト云フコトデゴザイマシタガ、短
期ノ議會タルト長期ノ議會タルト問ハズ一日モ早ク手ヲ著ケテ調ベテ置カ
ナケレバナラヌ、現ニ岐阜ノ話ニ致シマシテモ關谷清景ト云フ理學博士ガ

此人ハ病人デアリマシタ、ソレニモ拘ラズ岐阜ノ方ノ此調査ノ結果ヲ報
告シタノデ、大ニ岐阜愛知震災地方ノ人ハ大ニソレガタメニ安心シタト云フ
實例ガ現ニアル、即チ書物ニ依ッテ調べ、機械ニ依ッテ調べ、大地震ノ
後ニハ斯様々ノコトガアルト云フコトヲ報告シタメニ安心シタコトガア
ル、若シ調査ガ行届イタナラバ地震ノ豫防スルコトハ出来マセヌガ、震災ヲ
豫防スルコトハ出来マス、愈々地震ノ性質ガ分カル、又地震ノ前ニハドウ云
フ前兆ガアルト云フコトガ學術的ニ分リサヘスレバ、震災豫防ノ建築モ出来
マセウ、又其前ニ兆候ガ判然分レバ逃ルコトモ出来ル、是等ノコトハマダ學
問ノナイ時ナラ致方ハアリマセヌガ、苟モ學術ヲ以テ是等ノコトヲ研究スル
術ガアリマス以上ハ、一日モ忽ニスベカラザルコトデアラウト思ヒマス、震
災ノ我國ニ於テ數、アルコトハ諸君御承知ノコトデアルカラ、強イテ申シマ
セヌ、又世界云々ト云フコトガアリマシタガ、世界ノコトハ震災調ノ副産物
デアル、震災豫防調査ハ世界ノ學問ヲ助ケルタメニ斯ウ云フモノヲ置クノデ
ナイ、日本帝國ノ安全ヲ保ツタメニ斯ウ云フモノヲ置クノデアリマシテ、他
國ノタメニ斯ウ云フコトヲ置クト云フコトハ學問上ノコトニハ幾ラカアリマ
セウガ、ソレガ第一ノ目的デハナイ、故ニ諸君ハ此事ヲ御賛成アラシコトヲ

希望致シマス、私ハ唯此案ガ出タニ就イテ考ヘルコトデハナイ、實際先キノ
製鋼所ノコトニ致セ、此震災豫防調査會ノコトモ躬親ラ當リ熱心ニ賛成シテ
居ル者デアリマスカラ、委員會ニ於テ之ヲ削ツタノハ甚遺憾ニ思フ譯デアリ
マスルニ依ッテ、熱心此事ヲ復シテ文部省ノ申出ノ通り御協賛アラシコトヲ
希望致シマス

○山田泰造君(百十三番) 機械ト云フノハドンナ機械デゴザイマス

○渡邊洪基君(四十一番) 機械トハ微動ヲ調ベル機械デアツテ、早く言ヘバ
顯微鏡ノ大キナモノデアリマス、圓直ノモノガアツテ始終動イテ居ル、大抵
平日ハ凡ソ調ガ附イテ居リマス、ソレハ地震ノ前ハ後ロハドレ丈違フト云フ
コトガ分ッテ居リマス、ソレカラ磁石力ヲ調ベルノ機械ガナケレバナリマセ
ヌ

○山田泰造君(百十三番) 磁石トハ……

○渡邊洪基君(四十一番) 磁石トハ……

○山田泰造君(百十三番) 磁石トハ……

○渡邊洪基君(四十一番) 一寸質問致シタイ——政府委員ニ

○長谷川泰君(百七十二番) 政府委員カ

○渡邊洪基君(四十一番) 先達豫算委員會ノ砌政府委員ト豫算委員トノ
問答ヲ見マスルト、唯今何番デゴザイマシタカ、渡邊君ノ御述ベニナツタノ
ト少シ「ホコト」シテ居ル様デアリマスガ、政府委員ガ豫算委員ニ言ハレマ
シタ所ニ依リマス、此地震災豫防會ナルモノハ此機械ヲ設立致シマシタ上ニ
調査會ヲ設ケ、毎年其經費ガ三万圓カ要ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、併
シ何番デアリマシタカ豫算委員ノ太田君ガ御尋ニナリマシタ所ガ、其會ノ性
質ハ宛モ中央衛生會ノ如キモノヲ拵ヘルト斯ウ御答ニナツタヤウニ承知致シ
マスル、渡邊君ガ言ハレマシタノヲ大學總長——ハ此會ノ小サイヤウナモノ
ヲ現在立テラレル、別ニ費用ハ要ラナイ、シカ申シテ見レバ別ニ入費ハ要ラ
ナイ、此機械サヘ出来タナラバ矢張理科大学或ハ建築ノコトハ工科大学ノ人
ガヤリマシタナラバ、別ニ入費ハ要ラヌ(渡邊洪基君別ニ入費ガ要ラヌトハ
言ハヌ)別ニ要ラヌデハナイガ、政府委員ニ於テハ三万圓モ要ルト言フノダ
カラ、渡邊君ノ言ハレルノトハ「ホコト」スル(笑聲起ル)ヤウデアリマス
ガ、願クハ政府委員ニ此中央衛生會ノヤウナ會ニシテ、其組立カラ入費ヲ要
スル概略ヲ承リタウゴザイマス、少々疑フ懷キマスルカラ御答ヲ……、本員
モ學問ヲ進ムルニハ賛成ヲシマスガ、ドウモ趣意ガ「ホコト」致シマスカラ
(笑聲起ル)(佐々木正藏君「ホコト」トハ何ノ事デ)「ホコト」ト云フノハ矛
盾ダ(笑聲起ル)——且ツ本員ガ伺ヒマスルノハ、中央衛生會ノヤウナモノヲ
拵ヘルト云フコトデアアルガ、本員モ中央衛生會員ノ一人デアリマスカラ、
能ク其骨子ヲ知ツテ居ル、ソレ故ニ旁々原案ニ賛成スルカ、シナイカト云フ
コトニ就キマシテ、能ク其精神ヲ極メタイカラ、願クハ御答アラシコトヲ希
望致シマス

○政府委員(辻新次君) 百七十二番ノ御問ニ對シテ御答致シマス、御演說中
大分笑聲ガアリマシタカラシテ開漏シテアルカモ知レマセヌ、併シ本官ノ思
ヒマス所ヲ述ベマシタナラバ、大抵其御答ニナリマセウト思フ譯居リマス、
其中ニ渡邊君ト本官ノ申シタノニ就イテ異同ガアラウカト云フ事デアリマシ
タ、ケレドモ渡邊君ノコトハ私ハ保證致シマセヌカラ、ドウ言ハレマシタカ

○政府委員(辻新次君) 百七十二番ノ御問ニ對シテ御答致シマス、御演說中
大分笑聲ガアリマシタカラシテ開漏シテアルカモ知レマセヌ、併シ本官ノ思
ヒマス所ヲ述ベマシタナラバ、大抵其御答ニナリマセウト思フ譯居リマス、
其中ニ渡邊君ト本官ノ申シタノニ就イテ異同ガアラウカト云フ事デアリマシ
タ、ケレドモ渡邊君ノコトハ私ハ保證致シマセヌカラ、ドウ言ハレマシタカ

一向本官ノ關シマセヌ所デアリマス、ソレデ之ヲ始メタラバ費用ガ要ルカ要
ラスカト云フコトデゴザイマス、費用ハ要リマスデ、百七十二番ハ第二科ノ
委員會デ本官ガ答ヘマシタ所ヲ御覽ニナッテ居リマスヤウデアリマス、即チ其
通デアリマス、ソレカラ組織デアリマス、其會ノ——其會ノ組織ハマダ極
テ居リマセヌ、併ナガラ此調査會ヲ設ケルニ就イデハ豫メドウスルダラウト
云フ考案ハ立ッテ居リマス、ソレハ例ヘバ各省ニアル局ノヤウナ組立デハナ
イノデ、是ハ何ニ似テ居ルカト云ヘバ中央衛生會ノヤウナモノニシマス積デ
アリマス、ソレナラバ中央衛生會ノ如クニスルカラ人數モ同ジ、金モ同ジ
カ、總テノコトガ同ジカト云ヘバ、サウデハナイ、決シテ局トカ廳トカ云フ
鐵道廳トカ云フモノガアリマセウ、サウデハナイ、中央衛生會ノヤウナ
會ノ組立ニスルト云フコトヲ答ヘマシタノデス、先ヅ斯ウ云フ考案デアリマ
スカラ、斯ク御答シタラ大抵御答ニハ澤山デアラウト存シマス

○長谷川泰君(百七十一番) 今一應政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、此
地震調査會ナルモノハドコニ設ケルノデアリマセウ、例ヘバ文部大臣ノ直轄
デアリマシテ、文部省ニデモ御設ニナリマシテ御開キニナル都合デアルカ、
又或ハ先刻渡邊君ガ言ハレタ如ク、理科大學工學大學ノ間ニデモ置カレマシ
テ、サウシテ其學術上ノ調査ノ成績ヲ學者達ガ其寄ッテ會合シテ極メルト云
フヤウナコトデアリマセウカ、ソレヲ一寸御答ヲ願ヒタイ御答アラント云
希望シマス

○政府委員(辻新次君) 大學ニハ設ケマセヌ

○太田實君(百四十番) 一寸私ハ唯今長谷川君ガ政府委員ニ御質問ニナリマ
シタ中ニ本員モ引合ニ出テ居リマスガ、コ、デ少シク此原案ヲ賛成シタ理由
ヲ辯明シタイ、長谷川君ノ御質問ニ就イデハ本案ノ精神ニ關スルコトデゴザ
イマスカラ、一言ドウデゴザイマセウカ(鈴木萬次郎君ソレハ行ケナイ)再
ビニナリマスカラ、議長ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(星亨君) ソレハ行ケマセヌ

○太田實君(百四十番) 行ケナケレバソレ迄ノ話

(採決々々ト呼ブ者アリ)

○關戶覺藏君(百九番) 議長……私ハ極簡短デスガ……

○議長(星亨君) 六十一番……六十一番ニ許シマシタ

(討論終結ト呼ブ者アリ賛成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 發言ヲ許シマシタカラ……

(津田眞道君演壇ニ登ル)

○津田眞道君(六十一番) 本員モ原案ヲ賛成シマシテ回復センコトヲ望ム者
デゴザイマスガ、先キニ辻君デゴザイマシタカ恐ロシイモノハ地震、雷、火
事、親爺ト云フコトヲ申サレマシタガ、其雷、火事、親爺トモ皆能ク分ッテ居
ル、昔ハ雷ト云フモノハドウ云フモノデアッタカ淺草ノ雷神門ニアッタヤウ
ナモノト思ッテ居タガ、決シテ左様ナモノデハナイ、越歷ノ作用デアルト云

フコトハ、亞米利加ノ獨立ノ元祖わんどんヲ助ケタ、どんこるんと云フ人
ガ越歴ト云フコトヲ發明シテ能ク分ッテ居ル、ソレデ雷ヲ避ケル法モ十分ニ
能ク極ッテ居ル、ソレカラ火事ヲ避ケル方モ尙ホ容易ニナッテ居ル、ソレハ
ぽんぶノ發明ガ完全シマシタリ、又水道ノ改良ヲ致シマシタリシタナラバ、
此東京ノ大火モ悉ク防ギオウスルコトガ出來ルデゴザイマセウ、唯地震ノ一
點(親爺ヲ防グノ方法如何ト呼ブ者アリ笑聲起ル)ニ至ッテハ一向ドウモ、ド
ウ云フ原理デアルカ、ドウ云フ理由デアルカト云フコトハ未ダ歐米各國ノ理
學者中デモ十分ニ分ラヌノデス、ソレ故ニ二元ノ様デハ地震ガ日本ヨリハ少
イ、ソレ故ニ研究ノ便宜モ缺イテアルカモ知レマセヌ、ソレデ今日此機械
ニ依リマシテ地震ノ原因ヲ講究スルコトガ出來タナラバ、地震ヲ避ケルコト
ガ出來マセウ、又建築法モソレニ依ッテ改築致シマシタナラバ地震ニモ變動
セヌ様ナモノガ出來ルカモ知レマセヌ、此等ノ事ハ目下甚ダ迂濶ナ様ナ議
論ニハアリマスル、ケレドモ數十年前ノ後ヲ熟考シマスレバ必要ナ問題デア
ル、且ツ費用モ其様ニ掛リマセヌカラ、原案ヲ復シテ文部省提出ノ通ニ賛成シ
マス

○横井善三郎君(百八十五番) 討論終結ヲ……

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) ソレデハ討論終結ノ決ヲ採ラズニ決シテ……

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 是ヨリ本案ニ就イテ決ヲ採リマスガ、委員會デハ削除ニナッ
テ居リマスカラ、原案ニ就イテ採リマス、削除ノ方ハ起立セナクテ宜シウゴ
ザイマス、——原案ニ同意ノ方ハ起立ヲナスッテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數——削除スルコトニ決シマス——第三款

(町田書記官朗讀)

第三款 岐阜愛知兩縣下小學校設備補助

第一項 岐阜縣下小學校設備補助 金貳拾貳萬貳千六百六拾壹圓四拾貳錢

第二項 愛知縣下小學校設備補助 金拾四萬四千九百八拾六圓參拾貳錢

(政府委員文部次官辻新次君演壇ニ登ル)

○政府委員(辻新次君) 文部省ノ第三款岐阜愛知兩縣下小學校設備補助ノ款
デアリマス、是モ豫算委員會デハ減額ノ修正ニナッテ居リマス、是レ又喋々
本官ガ述ブルニ及ビマセヌ、處デ實ニ兩縣下ノ震災ノ甚シイ事其慘狀ハ實ニ
名狀スベカラザル所デアリマス、然ルニ兒童ハ當時ノ兒童ハ此不幸ノタメニ
就學スルノ途ヲ失ッタ次第デアリマス、實ニ此兒童ハ今日ノ兒童ニシテ、此
不幸ハ今日ノ一日ニ止ラズ致シマシテ、實ニ將來ノ——詰リ資本ヲ得ラレヌ
ト申シテ宜シイ位デアリマス、故ニ政府ハ早速補助シテ此兒童ノ就學スル所
ノ途ヲ立テタイト云フコトデアリマス、然ルニ此費用モ決シテ多分ノ費用ヲ
與ヘ様ト云フコトデアリマセヌ、實ニ僅々ナルコトヲ救助スルニ止マル所

デアリマス、然ルニ僅カナ費用ノ内ヲ尙ホ減額シテアリマスル所デアリマスガ、右様ナ事デアリマシテハホシニ差支エルコトデアリマスカラシテ、ドウゾ原案ノ通可決セラレンコトヲ希望シマス

○工務行幹君(百六十六番) 本員ハ政府委員ニ質問ヲ致シタイノハ外デアハアリマセヌ、兒童ノ就學ハゴタ大切ナコトデアリマス、然ルニ唯今政府委員モ述ベタル、通大切ナコト、云フ譯デアアルガ、是迄延ビテ第二期ノ議會ニ追加案トシテ出サウナコトデアリマシタガ、土木費補助杯ハ出テ居ルニモ拘ラズ、文部省ハ是等ノ事ヲ打遣ッテ置キマシタノハ、或ハ怠慢カラ生ジタコトデゴザイマスカ、又ハ初ヨリ氣ガ、附イテ居ッタガ、サウナラナイデアッタコトデゴザイマスカ、是ガ遷延シタ次第ヲ承リタウゴザイマス

○政府委員(辻新次君) 唯今ノ御問ハ至極御尤デアリマス、是ハ決シテ昨年ニ於テ氣ノ附キマセヌコトデアハゴザイマセナシタ、併ナガラ何分ニモ之ニ依ル調ガ附キマセヌコトデア、ツレデ御承知モアリマス通他ノ衣食住ノ方ハ早ク手が著キマシテ、又調モ出來マシタガ、何分ニモ是ハ調ガ附キマセヌカラ、遅レマシタコトデゴザイマシテ、其時モ教育ニ手ヲ著ケナケレバナラナイト云フコトハ、十分氣ノ附イタコトデアリマスカ、全ク其處ヘ運ブズ時日ガゴザイマセヌ故デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○内藤利八君(十二番) 此補助ノ致方ニ就キマシテ豫算委員會デ本員ト政府委員ト問答致シマシタノデ、大抵ハ分リマシタノデアリマスカ、モウ一件御尋申サネバ少シク補助ノ方法ガ明ニナリマセヌカラ、止ムヲ得ズ本會デ御尋致シマス、豫算委員會デ御尋申シマシタ夫ノ補助ノ方法デゴザイマスカ、此方法ヲ御尋申シマシタ時分ニ、政府委員ハ即チ此小學校ト云フモノハ負擔ノ義務ヲ負フテ居ルモノデアラカラシテ、何處迄モ補助シナケレバナラヌト云フ御答デ、本員ハツレデ止ミマシタ次第デアリマスカ、思フニ此前日ノ御答ニ依リマスレバ建築費ハ凡ソ半額ヲ補助スルト云フコトデゴザイマス、去リナガラ或ル校ニ依ッテハ金額ヲ給スルコトモアラウ、或ル校ニ依ッテハ又三分ノ補助ヲスルコトモアラウ、斯ウ云フ風ナ意味デ御答ニナリマシタモノデアルノデアリマス、サウ致シマシレバ一體ニ各村ノ小學校ニ向ッテ孰モ半額ヲ補助スルコトハ極ッテ居ラヌト云フ事實ハ明ニナッテ居ル、去リナガラ此全體ノ金額ニ對シマシテ例ヘバ建築費ガ一万圓ノモノナラバ、總體ノ平均上之ニ對スル所ノ町村ノ負擔スルモノハ一万圓ト云フヤウナ計算ニナルノデアリマスカラ、其邊ガ少シ分リマセヌカラシテ、是ハ隨分此土木費補助等ニ於キマシテハ往々濫費ガアリマシテ、社會ノ一問題トナッテ居ル譯デアリマスカラ、支出ヲ致シマス所ノ此補助ト云フモノ、仕方ヲ明ニ致シテ置キタイ、又明ニ承ッテ置キタイノデアリマスカラ、ツレヲ一應……

○政府委員(辻新次君) 十二番ノ御問ハ對シマシテハ少シク委員會デ圖答致シマシタノハ、本官ノ申シマシタ所ト、唯今十二番ノ御話ニナリマシタ所トハ稍々少シ異同ガアラウカト思ヒマスカラ、ツレモ併セテ更メテ今御答ヲシマシタラバ、其異同ノアツタ所モ分リマセウカト思ヒマス、ツレデ唯今十二番ノ御述ニナリマシタ通ヲ本官ハ御答ヲシタヤウニ考ヘテ居リマセヌ、ツレニ少シ異同ガアラウカト思ヒマス、一體此金額ハドウ云フ譯デアアルカト云フ大要ヲ申シタレバ、サウ云フヤウナ御問デアリマシタカラシテ、ツレハ建築ノ費用デ元ト一坪七圓ト立テタノガ、從來ノ建築費ノ大凡半額位ニ當リマス、是ハ全ク目安ニ致シタノデアツテ、即チ七圓ハ今建築ヲシヤウト云フ其學校ニ向ッテ、全ク半額ヲ與ヘルト云フ譯デアハナイト云フコトヲ御答シタ積デアリマス、七圓ト云フコトヲ見積ッタノハ何ンデアアルカト云ヘバ、是ハ何ンデア七圓ヲ極メタカト云フニ、ツレガ從來ノ建築費ノ大凡半額位ナ所ヲ目安ニ立テタノデアリマス、斯ウ云フコトデアリマシタノデゴザイマス、ツレカラ此補助致シマシタ上ニ、此補助ガ愈々叶ヒマシタ以上ハ、ドウ云フコトニヤルカト云フコトデアリマス、是ハ十分ニ實際ニ當ッテ事ヲ致シマスカラシテ、其實際ニ當ッテアルコトヲ今此處デ悉ク述べ盡スト云フコトハ出來マセヌガ、先ヅ文部省デ考ヘテ居リマス所デハ、總體ノ上ノ目安ハ今ノ所デ是ハ算ヲ立デマシタノデアリマスルガ、實際其學校ニ之ヲ與ヘマスルトキニハ詰リ申シマスト云フト、町村ノ貧富、其建築ノ工合、ツレコレノ實際ヲ見マシテ、何ンデモカンデモ一坪七圓ニ積ッタカラ七圓ヲ與フルト云フコトデアハナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、故ニ之ヲ一寸申シマシレバ、建デ得ラル、ノハ……七圓與ヘマセズトモ、建デ得ラル、ノハ七圓與ヘルト云フコトデアハナイ、併ナガラドウシテモ七圓五十錢與ヘナケレバナラナイ、五十錢與ヘナイガタメニツレガ出來ナイト云フヤウナ所ハツレハ七圓五十錢與ヘヤウ、斯ウ云フ方法ヲ執ッテ居リマスカラ、之ヲ愈々與ヘルトキニハ十分ニ實際ニ就イテ能ク取調ベテゴク必要ト認メタ所デアリマス

○由雄與三平君(六十九番) 此兩縣下ノ遭難ノ學校ノ數ハ幾程アツタノデゴザイマスカ、其數ヲ承リタイ

○政府委員(辻新次君) 岐阜ト愛知デ六百二十デアリマス、其中全ク潰レタノガ三百九校、ツレカラ全ク燒ケマシタノガ三校、半潰ガ三百八校、ツレハ兩縣下ヲ合セタノデアリマス、若シ中ノ細區別ガ御入用ナラバ上ゲマス

○今井磯一郎君(百九十番) 此案ヲ豫算委員會ニ於テ修正ヲ致シマシタ理由ヲ簡單ニ述ベヤウト存ジマス、尤モ反對者ガアルト云フコトデアリマシタカラ、驚イテ唯今調ベテ見マスルト、岐阜縣選出ノ大野君ガ反對デアリマスカラ、恐クハ原案贊成デアラウト思ッテ居タ、而シテ今百九十番一己ノ考ヲ以テスレバ、或ハ大野君ト同感デアラウトモ思ヒマスカ、去リナガラ豫算委員會ノ主査ノ義務ヲ以テ茲ニ修正ヲ致シマシタ理由ヲ簡單ニ述ベヤウト存ジマス、此金額ヲ斯ク修正致シマシタモノハ費額一坪七圓トアルヲ五圓トシ、半潰ノ三圓トアルヲ二圓トシ、學校ノ機械ノ買入費六十圓トアルヲ四十圓トシ、

三十圓トアルヲ二十圓ト見積リマシタ金額デゴザイマス、他ニ何モ別ニ理由
ハゴザリマセヌ、豫算委員會ニ於キマシテモ此兩縣下ノ小學校ニ救助セザル
ヲ得ヌト云フコトハ固ヨリ認メテ居リマシタカラ、別段ニ其邊ノ當否ト云フ
コトハ餘リ議論モアリマセナカッタカラ、此段ヲ併セテ御報道致シマス

○議長(星亨君) 御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ決ヲ採リマス、即チ三
款ノ一項二項揃ヘテ決ヲ採ルコトニ致シマス、修正案ニ同意ノ方ハ起立
起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ッテ修正案通ニ決シマス——是ヨリ遞
信省ノ所管ニ移リマス、——朗讀ヲ致シマス

(町田書記官朗讀)

第三款 營繕費 金拾萬五千七百八拾四圓八拾貳錢

第二項 平磯航路標識新設費 金壹萬參千七拾壹圓八拾八錢

第三項 震災新營繕費 金貳萬圓

第四項 火災新營繕費 金壹萬八千貳百拾參圓六拾四錢

第五項 明治丸修繕費 金五萬四千五百圓

○議長(星亨君) 尙ホ三款モ讀ンデ仕舞フコトニ致シマス

(町田書記官朗讀)

第三款 營繕費 金參萬貳千四百貳拾圓

第四項 火災新營繕費 金參萬貳千四百貳拾圓

(湯淺治郎君演壇ニ登ル)

○湯淺治郎君(百二十番) 是ヨリ豫算委員會ニ於テ調査ヲシマシタ遞信省所
管ニ關スル調査ノ報告ヲ致シマス

第三款第二項ノ平磯航路標識新設費——本項ハ元ト二千八百圓ノ費額デ標識
ガ建設ニナツテ居リマシタノデアリマス、然ルニ爰ニ要求シ來ッタノハ一万
三千有餘ノ金額デアリマスルガ、其場所ハ暗礁ガアリマシテ航海ノタメニ甚
ダ危險ナル場所デアリマスルデス、其前ニ立ッテ居リマシタ標識ハ海嘯ノタ
メニ遂ニ破壊サレタ後デアリマス、故ニ此處ニ堅牢ナル標識ヲ立テルノデア
リマス、其精シイ調モアリマスケレドモ、委員會ニ於キマシテハ其要求ヲ適
當ト見テ原案ヲ採用致シマシタ

次ハ第三項震災新營繕費、是ハ名古屋ニ郵便電信局ヲ新築致シマスノデアリマ
ス、是ハ震災ニ罹ッテ今假ニ事務ヲヤツテ居ルサウデアリマスルガ、元ハ煉
瓦ノ築造デアリマシタ、其費額ハ二萬九千四百六十圓ノ築造ニ要シテ居リ
マシタ所ニ、二萬圓ノ要求ヲシテ來ッタノハ煉瓦ノ建築ヲ變ヘテ木造ニ致
ス、之ヲ審査ヲ致シマスルノニ他ノ大藏省或ハ遞信省ノ要求ト其坪當リ、其
當リ設計ヲ調査スルト稍々高キニ失シテ居ル様ニ考ヘマシタ故ニ豫算委員
會デハ之ヲ一萬六千圓ニ減シマシタ、割合ニスレバ二割ヲ減額シタノデス、
其ニ割ヲ減ズレバ一坪ニ對シテドレ丈ノ凡ソ當リニナルカト云フコトヲ見マ
スレバ、五十六圓ノ坪當リデ計算ヲ致シタノデス、原案ハ一坪七十圓ヲ要求

シ來ッテ居ルデス、尙ホ是迄各所ニ建築シ來ッタ遞信省ノ郵便電信局ノ建築
費ヲ見マスルト、大阪トカ若クハ東京トカ云フモノヲ除キマスレバ、一萬圓
以上ヲ費ヤシテ建築シタモノハ殆ドアリマセヌ、唯仙臺ニ一萬圓ヲ費シ、青
森ニ一萬圓ヲ費シタコトガアリマス、其他ハ二十二年度以來大概其以下ニ
アリマス、處デ此ニ主査ガ調査シマシタノハ一萬六千圓デアリマス、故ニ決
シテ此減額ハ實際ニ設計ヲ變ヘナクテモ、或ハ其用材等ニ聊カ注意スレバ建
築シ得ル考デアリマス

次ノ第四項ノ火災新營繕費ハ静岡ノ郵便電信局デアリマス、是ハ前ノ費額ハ六
萬九千三百六十圓餘デ出來テ居ルノデアリマス所ニ、一萬八千二百十三圓ノ
要求ヲナレテ參ッタノデアリマス、是モ同ジク坪當リ其他ヲ比較致シマスル
ト前同様ノ比較ヲ以テ減ズルノヲ至當トシテ、委員會ニ於テハ修正ヲ致シタ
ノデアリマス、唯名古屋ト異ナル所ハ地所購求費ガ這入ッテ居リマス、併ナガ
ラ其地所ノ坪當リモ一坪ガ十四圓積リニナツテ居リマス、此積リモ同ジク二
割ヲ減シテモ十圓以上ノ一坪當リデアリマスカラ、實際ニハ爰ニ求メ來ッ
丈ノ地所ハ買得ル考デアリマス

次ハ明治丸修繕費デス、此費用ハ前議會ニモ要求ヲ政府ガ致シタ費用デアリ
マシテ、然ルニ其費額ガ前議會ニ要求シタヨリモ之ニ増シテ要求シ來ッタ譯
ハ、前議會以後幾度カ航海ヲ致シテ大ニ船ノ船體ヲ破壊致シ愈々大修繕ヲ加
ヘナケレバナラナイト云フ必要ガアリマス、併ナガラ此船ノコトヲ委シク調
ベテ見マスルノニ此明治丸ハ明治七年ニ買入レタモノデ、既ニ十八年バカリ
經過ヲ致シテ居ルノデ、凡ソ船ノ壽命ハ大略二十箇年デ終ルモノダサウデ
アリマス、其計算ヨリスレバ最早此船ノ代價ハ今日二萬圓バカリノ代價ガ
殘ッテ居ルサウデアリマス、元ト買ヒマシタノハ二十萬圓少シ餘デ買ヒマシ
タモノデアアルサウデ、今賣レバ二萬圓ニ過ギナイモノニ數萬圓——五萬五
千圓餘ヲ掛ケテ修繕スルト云フノハ甚ダ不得策デハナイカ、此明治丸ノ要用
ハ航路標識ニ要スル油其他需用品ヲ輸送スルタメニ必要ナノデアリマスガ故
ニ、之ガタメニ外ニ船ヲ雇ッテ此明治丸ハ賣ッテ仕舞ッタラドウダ、若クハ
明治丸ハ賣ッテ新ニ買入レタラドウダ、其邊ヲ調査致シマスルト、斯ウ云フ
當局者ノ答辯デアリマスルデス、二萬圓ニ五萬五千圓バカリノ修繕ヲ加ヘレ
バ七萬五千圓ニナル、其船ガ今後幾年間所有スルコトガ出來ルカト云フコト
ヲ尋ネマスレバ、凡ソ十箇年若クハ十五箇年其以上使用ノ出來ルカト云フコト
ハ先ヅ請合ヘヌガ、其位ハ使ヘルト云フコトデアリマス、處デ一方ニハ明治丸
ト同様ナ船ヲ今日新ニ買ヘバ幾ラ位デアアルカト云フコトヲ尋ネマシタラ、矢
張二十萬圓程要ルト云フ、此點ヨリ考ヘマスレバ矢張修繕ヲ加ヘタルガ利
益ガ有リマスル、併ナガラ此既ニ十八年間用ヒタモノガ今後十年十五年持ッ
ト云フコトハ素人ガ考ヘテモ甚ダ不安心デアリマスルガ、此船ノ期限ニ附
イテハ當局者ノ答辯ニ必ズ責任ガアルト信シテ、委員會ニ於テハ原案ヲ認可
シタ譯デアリマス、尙ホ加ヘテ其外ニ此船ノ無クテナラヌト云フコトヲ申シ

マスレバ、此船ハ(折田兼至君モウ澤山簡單々々と呼ブ)管ニ航路標識ノ需用品ヲ運搬スルバカリデナク、海底電信用ニ……電信ノ布設用ニ之ヲ供スルタメニ、又一方ニ大ニ利益ガアリマス、此海底電信布設ノ用ニ供スル船ハ日本ノ他ノ船ヲ借りルコトが出来マセヌサウデアリマス、ソレハ海底電信ヲ布設スルタメニハ船ノ底ニ穴ヲ開ケナイデハナラヌ、ソレヲ嫌フテ中々容易ニハ貸サヌ、ソレガ自分ノ船ナラバ入用ノ時ニハ穴ヲ開ケテ使ヒ、入用ノ無イ時ハ穴ヲ塞イテ用ヒル便利ガ出来ル、其細カイ計算モアリマスルガ、御飽キデアリマセウカラ此處デハ省キマス、次ハ再び追加案ト出マシタ火災震災費デ、是ハ札幌ノ郵便電信局ノ新設費デアリマス、是ハ要求ニ對シテ半額ニ減ズルト云フノデアリマス、是ハ逓信省ガ要求シテ來タノハ石造ヲ變ヘテ木造ニ一坪當リガ百四十圓當リデアリマス、デ委員會デハ之ヲ石造ヲ變ヘテ木造ニスル積デアリマス、故ニ之ヲ半額ニ致シタデアリマスルガ、其内五千四百圓ハ静岡ト同ジク地所ヲ買入レルト云フ費用ガ這入ッテ居リマス、其地所ノ一坪當リハ二十圓ニナッテ居リマス、デ委員ガ觀察スル所デハ札幌ニ於テ地所ヲ買入ル、ニ一坪二十圓デハ甚ダ高イヤウニ考ヘル、ヨシ格別高クナイトシマシテモ他ノ石造ヲ變ヘテ、木造ニスレバ尙此費額デ建テ得ルコトガ出来ルデアラウト思フ、其半額ニシタ内譯ヲ申シマスレバ、斯様ニ成リマス地所ヲ買入レルバ、一坪十八圓、ソレカラ二階建ノ家屋ガ五十五圓、平家ト附屬家ヲ併セマシテ其坪當リガ三十圓、倉庫二階建ガ一坪四十五圓等ノ計算ヲ致シマシテ、其總計ヲ東ネマスレバ丁度其半額ニ當リマスルヲ以テ是丈ノ坪數及地所ヲ買入レルコトハ、必ス委員會ニ於テハ出来ルト云フコトヲ見込マレタノデアリマス、然ルニ尙ホ御參考ノタメニ申シマスルハ政府委員ヨリシテ石造ヲ造ルコトガ委員會デ賛成ガ出来ナイナラバ、之ヲ中等ノ煉瓦デ造ッテハドウダト云フ御相談ガアリマシタ、中等ノ煉瓦デ造レバ二万五千二百二十圓デ出来ル、又中等煉瓦ガ委員會デ許サナイデアリマスレバ、之ヲ木造ニスル、木造ニシテ當局者ガ思フ通ニ言ヘバ一万九千九百五十圓ナレバ出来ルト云フコトヲ參考迄ニ申サレマシタガ、矢張委員會ハ前ノ考ノ通半額ヲ以テ適當トシテ議決ヲ致シマシタ、尙ホ茲ニ改メテ御報告致シマスルコトハ、此逓信省所管ガ再追加ノタメ修正案ガ二ツニ成テ居リマスルデスガ、之ヲ形式上一ニ併ハスルガ相當デアリマスルデス、是ハ第三款第項ノ一目ガ静岡郵便電信局、二目ハ札幌郵便電信局ト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、其金額ヲ申シマスレバ逓信省第三款ノ總額ガ十三万八千三百零四圓八十二錢、是ガ要求總高ニ成リマス、修正額ノ總高ハ十一万四千三百五十二圓零九錢二厘、減額シタ總高ガ二万三千八百五十二圓七十二錢八厘トナリマス、内譯ハクドク成リマスカラ省キマセウ、左様御承知ヲ願ヒマス

(政府委員逓信次官河津祐之君演壇ニ登ル)

○政府委員(河津祐之君) 私ハ逓信省所管ノコトニ就キマシテ一言致シマスルガ、豫算委員ニ於カレマシテモ數日來ノ御調査ガアリマシテ、段々審議ヲ

盡サレタ上ニ、斯ク削減ニ成リマシタル次第デゴザイマスルカラ、今日豫算委員諸君ノ御骨折ヲ謝スルト同時ニ、決議ヲ重シテ原案ヲ恢復スルト云フ發議ハ——サウ云フ要求ハ致サヌ積ダ、併ナガラ一言諸君ニ御斷リ致シテ置キタイノハ、此唯今主査ヨリ陳述サレマシタ所ニ依リマスルト云フト、札幌郵便電信局ノコトハ行政官ノ提出シタ所ノ設計デハヤラナイ、即チ石造ヲ建ルノヲ惡イ所ノ木造ニスル積デアルト云フノデゴザイマスルカラ、是ハ惡イモノニ設計ヲ更メレバ安クモ出来ル次第デゴザイマスルカラ、仔細ゴザイマセヌガ、此名古屋及静岡ニ就イテハ、二割ヲ減シテサウシテ同ジ設計デヤル、地面モ同ジ地面ヲ買ヒ、家ノ造方モ前行政官ノ見込ヲ立ッダ通ト云フコトハ、是ハ出来ナイコトデゴザイマス、故ニ此二割減ノ削減ニ就イテ再び原案ニ戻スト云フ要求ハ致シマセヌ、ナレドモ之ヲ實行致シテ此決議ヲ實行致シテ、名古屋及静岡ノ郵便局ヲ建テマスニ就イテハ、或ハ唯今マテ三百坪ノ地面ヲ買フト云フ見込デアリマシテモ、其價ヲ以テハ三百坪ヲ買フトコトガ出来ヌ、即チ二百坪デ我慢ヲシナケレバナラヌ、或ハ其場所デハ買フトコトガ出来ナイカラシテ、他ノ場所ヲ買ッテ廳舎ヲ移スト云フ等ノ設計ヲ變ヘナケレバナラヌト云フ譯ガアリマス、決シテ行政官ガ見積ハ懸直ノ見込ヲ出シタト云フ譯デアリマセヌ、出来ナイ譯デアリマセヌガ、例ヘバ六尺ノモノヲ五尺ニ減シテ建テレバ建テラレマス、ナレドモ前ノ設計通ニヤルト云フコトハ出来マセヌカラ、此コトヲ一言諸君ノ御耳ニ入レテ置キマスル譯デゴザイマス

○曾我部道夫君(八十二番) 一寸政府委員ニ聽キマスガ、此昨年ノ議案ニ航路標識新設ト云フモノガゴザイマスガ、是ハ新設デアリマスデ、トウト成立ヌ譯デゴザイマス、唯今ノハ平磯是ハ明石近邊デゴザイマスガ、前ノ火見岬ノ方ハ御止ニナリマシタカ

○政府委員(河津祐之君) 昨年ノ議會ニ出シマシタノハ火見岬デ逓信省ノ設計デ考ヘマスル所デハ、段々日本ハ斯ノ如キ海國デアリマスル、ナレドモ燈臺ハ誠ニ少イデ、ドウシテモ百幾箇所ト云フ燈臺ト云フモノハ、追々建テ往カナケバレナラヌ、其内火見岬ノ燈臺ヲ一ツ拵ラヘヤウ、ソレカラ追々今年ノ通常會ニモ出シ又來年ノ通常會ニモ出スト云フ考デアリマシタ、然ル處昨年ハ不幸ニモ議會ガ解散ニナリマシテゴザイマス、ソレ故ニ火見岬ノ燈臺ヲ造ルコトハ止メニ致シマシタ譯デ、何故之ヲ今日此處ヘ出サヌト云フニ通常事業デゴザイマスカラ、何モ通常會ヲ待タレヌト云フ次第デモナイ、即チ火見岬ハ通常議會ニ持出ス積デアリマス、即チ本年ノ通常會ニ出ス積デアリマス、航路線ト云フモノハ暗礁ノ上ニ立ッテ居リマスガ、昨年ノ暮海嘯ノタメ取ラレテ、唯今デハ暗礁ノ印ガナクッテ居リマスノデ、實ニ危險デアリマス、故ニ航海ヲ爲スコトガ出来ナイガ、是ハ新ニ出シタ譯デ、詰リ緩急ノ別ガアル次第デゴザイマス

○曾我部道夫君(八十二番) 唯今ノハ分リマシタガ、モウ一ツ伺ヒタイ、昨年ノハ一万圓、今年ノハ一万三千圓餘ニナリマス、是ハ同ジモノデ斯ウ差違

アル筈ハナイ譯ト思ヒマスニ、三千餘モ金額ニ差違ヲ生ジマスルハ、何カ組立法ガ違フデゴザイマスカ

○政府委員(河津祐之君) 昨年ノハ火見岬ニ燈臺ヲ建テルト云フ價デゴザイマス、是ハ平磯ノ岩礁ノ上ニ立標ヲ建テマスノデアリマス、平磯ハ立標ヲ建テルノ火見岬ハ燈臺ヲ建ヘルコトデ、自カラ地理モ違ヒ事柄モ違フコトデゴザイマスカラ、是ハ名コソ航路標識云々トゴザイマスルガ、是ハ違フノハ別ニ怪ムニ足ラヌコトガゴザイマス

○早川龍介君(三十七番) 一寸簡單ナコトデゴザイマスガ、詰リ此經費ト云フモノハ別段ニ餘分ノモノヲ之ニ原案ヲ出シタノデナイト云フコトデアリマシタガ、併シ此修正案ニナリマスレハ唯今ノ説明ヲ見レバ、場所ガ狹クナッテ來ルト云フヤウデゴザイマシタガ、サウシマスルト詰リ金額ニ餘剩ハナカッタナレドモ、場所ハ狹クナッテモ用ハ足リル、即チ別ニ出シタノハ少シ場所ガ餘計ニ廣過ギルヤウナ都合デ、原案ガ出テ居タト云フコトニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(河津祐之君) ソレハ使用次第デアリマス、金ガタントアツテ今日廣ク拵ヘテ置ケバ、行ク末長ク、別段買足シテ置ケテモ宜シイ、郵便事業戰々乎トシテ進ンデ居ル、進ンデ居ルノハタント地面ヲ買フテ置ケバ進ンデ行ッテ廣イ所ガ入用ニナツテモ、長イ間別段買フコトノ必要ガナイ、併シツレダケ金ヲ許可スルコトガ出來ナイトスレバ、ツレダケ買ハヌヨリ外ニ致方ナイト云フ御答ヲ致シマシタ

○早川龍介君(三十七番) 少シ此際ニ餘分ニ買ッテ置キタイト云フ原案デアッタト、考ヘテ宜シウゴザイマスガ

(決キヤト呼ブ者アリ)
○議長(星亨君) モウ別ニ御議論ガナケレバ決ヲ採リマセウ、即チ此第三款ノ第二項ハ別ニ修正案ガゴザイマセヌ、原案ノ通ニ決シマシテ宜ウゴザイマスカ

(異議ナシト呼ブ者多シ)
○議長(星亨君) サウシテ此ニハ三項ハ修正ガゴザイマス、三項ニ修正ガゴザイマスカラ、是ハ修正通ニ致シテ宜シウゴザイマスカ
(異議ナシト呼ブ者多シ)
○議長(星亨君) 四項ハ兩方修正ガゴザイマスガ、四項ハ後トカラ書イタモノモゴザイマスデ、之ヲ一緒ニスルト云フニナツテ居リマス、デ其金高ヲ朗讀致サセマス、合シテ決ヲ採ル方ガ宜カラウト思ヒマス、只今ノ追加ノ上ニ尙ホ追加デ二ツニナツテ居リマス、ケレドモ項ガ一ツデゴザイマスカラ、合シテ幾ラニナルト云フコトヲ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)
第四項 參萬七百八拾圓九拾壹錢貳厘
○議長(星亨君) 是ガ即チ兩方合シテ修正ノ高デアリマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)
○議長(星亨君) 別ニ御異議ガナケレバ即チ可決シタモノト認メマス、第五項ハ原案ノ通ニ別ニ修正ガゴザイマセヌガ、異議ガナケレバ可決ト認メマス
(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 是デ總テ逕信省所管ノモノヲ議決致シマシタ、是ヨリ歳出臨時部總計云々トゴザイマスガ、是ハ多少削減シタ所モゴザイマスカラ、孰レ其結果ニ依ッテ百八十五萬幾ラトアリマスガ、是ハ此方ラデ一應調ベテ改メルトコトニ致シマス、是ヨリ歳入ノ部分ヲ採リマセウ、決ヲ採リマセウ、決デハナイ、先ツ會議ニ付スルコトニ致シマス、前ノ方……之ヲ一應朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)
歳入臨時部

第七款 前年度繰入金 金貳百七拾八萬貳千六百九拾貳圓八拾八錢參厘

第一項 前年度繰入金 金貳百七拾八萬貳千六百九拾貳圓八拾八錢參厘
○議長(星亨君) 追加ノ歳入ガゴザリマスカラ、ツレモ議ミマス

(町田書記官朗讀)
第七款 前年度繰入金 金參萬貳千四百貳拾圓

第一項 前年度繰入金 金參萬貳千四百貳拾圓
○議長(星亨君) 諸君ニ之ヲ何ニシマスガ……

○湯淺治郎君(百二十番) 今ノ朗讀ニナリマシタ、款ヲ即チ軍艦製造費ノ金額ダケヲ減ズルト云フ動議デスガ、或ハ其方ラデ御直シニナリマスカ、其動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) ツレハ自然ノ結果デサウナルト云フ、即チ百八十五萬某ト云フコトニナル、自然ノ結果デ歳入ノ二ツアルヤツヲ合シテ一項ニ合セテ仕舞フコトニナル、サウスルトツレガ百八十五萬某(異議ナシト呼ブ者アリ)異議ガナケレバ即チ修正案通、今讀ンダ修正案通ニ致シマス、サウスルト甲號ノ歳出入ハ決定致シマシタガ、是ヨリ乙號ニ移リマス

○尾崎行雄君(五番) 唯今ノハ御確定ニナツタノデアリマスカ
○議長(星亨君) 今採ッタ上デ……

○尾崎行雄君(五番) 甲號ダケハ御確定ニナツテハ如何デゴザリマセウカ
○議長(星亨君) 後デ差支ハアリマセヌガネ

○尾崎行雄君(五番) 願クハ唯今御確定アラシコトヲ……

○島田三郎君(百五十一番) 五番ヲ贊成致シマス
(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) サウスルト是丈ヲ確定議ニシテ採リマセウ、ツレナラバ即チ此甲號ノ支出ニ就イテ別ニ朗讀ハ致シマセヌガ、是ハ則チ修正案通御異存ガナケレバ(異存ナシト呼ブ者アリ)決ヲ採ル譯デアリマスガ、即チ異存ガナケレバ贊成ガゴザリマスカラ起立ヲ願ッテ置キマス

起立者 多數

○議長(星亨君) 大多數ト認メマス、即チ確定致シマス、是ヨリ乙號議案ニ移リマス、乙號第一ノ會議ヲ開キマス

(町田書記官朗讀)

第一 歳出臨時部内務省所管

第十五款 全國鐵道線路調査費總額六萬圓

內金貳萬五千圓 明治二十五年年度

金參萬五千圓 明治二十六年年度

金四千五百圓 明治二十七年年度

○今井磯一郎君(百九十九番) 此内務省ノ乙號ヲ愛ニ御報道致スガ宜シウゴザリマス、此豫算委員會ニ於キマシテ査定致シタ所デ、ズント其方デ讀ンデ戴クコトニ致シテハドウデゴザリマセウ

○議長(星亨君) 宜シウゴザリマス、唯今修正ノ金額ヲ朗讀致サセマス

(町田書記官朗讀)

總額五萬四千圓

內金貳萬貳千五百圓

金貳萬七千五百圓

金四千圓

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) サスレバ是ハ即チ修正ノ額ニ異議ガゴザリマセンナラバ、可決致シタモノト認メテ宜シウゴザリマス、(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)ツレナラ可決致シマシタ次ニ第二ニ移リマス

(町田書記官朗讀)

第二 歳出臨時部陸軍省所管

第一款 砲臺建築費

第一項 東京灣砲臺建築費總額 八百貳拾六萬五千圓

內金四拾八萬四千四百拾七圓四拾九錢壹厘 明治二十四年度迄支出高

金七百七拾八萬五千八拾貳圓五拾錢九厘 明治二十五年年度以後支出高

此改定年割額左ノ如シ

(今五千圓ト言フタノハ五百圓ノ間違デセウト呼ブ者アリ)

(町田書記官朗讀ヲ繼續ス)

金四拾壹萬四千五百圓 明治二十五年

金參拾壹萬參千圓宛 明治二十六年度ヨリ明治三十三年度ニ至ル

金參拾壹萬八千六百五拾參圓參拾五錢五厘 明治三十四年度

金四拾六萬貳千四百貳拾九圓拾五錢四厘 明治三十五年度

○議長(星亨君) 原案ニ就イテ決ヲ採リマスガ、異議ガゴザリマセンナラ

バ、原案通可決シタモノト認メマス、(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)スレバ原案通り

(町田書記官朗讀)

第三

歳出臨時部陸軍省所管第三款

兵器彈藥費

金七百八拾參萬六千參百四拾圓五拾八錢六厘

金六拾五萬八千六百六拾圓六拾錢

合計金八百四拾九萬五千壹圓拾八錢六厘

內

金八拾四萬五千貳百九圓參拾六錢參厘

金七百六拾四萬九千七百九拾壹圓八拾貳錢參厘

支出高

此改定年割額左ノ如シ

金百五拾六萬貳千七拾五圓貳拾貳錢

金五拾壹萬四千五百六拾七圓八拾四錢四厘

金五拾壹萬八千貳百五拾壹圓九拾五錢四厘

(朗讀省略ト呼ブ者アリ)

金五拾壹萬五千貳百參拾八圓八拾五錢參厘

金五拾壹萬五千八百參圓五拾八錢參厘

金五拾壹萬貳千八百八拾八圓九拾七錢六厘

金五拾壹萬參千五百五拾五圓六錢九厘

金五拾壹萬參千貳拾八圓五拾九錢四厘

金五拾壹萬參千七百七拾圓壹錢七厘

金五拾壹萬九百八拾壹圓七錢九厘

金四拾萬千參百七拾圓壹錢七厘宛

金貳拾五萬七千貳百九拾圓五拾八錢參厘

○議長(星亨君) 是ニハ修正ガゴザリマス百二十四番

○田庭吉君(百二十四番) 此修正金額ハツレノ御配付ニナツテ居ルモンデスカラ、朗讀ヲ省キ、直ニ修正案ニ決議アラントヲ希望致シマス

(賛成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) サスレバ決ヲ採リマスガ、修正案ニ御不同意ガナケレバ是ニ可決致スコトニ……(異議ナシト呼ブ者アリ)ツレナレバ修正通りニ可決致シタコトニ致シマス、是ヨリ第四

(町田書記官朗讀)

第四

歳出臨時部陸軍省所管第五款連發銃製造費第一項兵器彈藥費

總額百六拾參萬四百參拾九圓參拾壹錢六厘

内

金參拾貳萬六千八百八拾八圓宛

金參拾貳萬六千八百八拾七圓參拾壹錢六厘

自明治二十五年
至明治二十八年
度
明治二十九年
度

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) サスレバ異議ガゴザリマセンケレバ、原案通ニ可決致シタ
コトニ……(異議ナシト呼ブ者アリ)第五

(町田書記官議案ヲ朗讀ス)

第五

歲出臨時部陸軍省所管第六款

棉火藥製場新設費

總額拾壹萬九千六百貳拾四圓

内

金參萬七千四百參拾參圓參拾九錢壹厘

金八萬貳千九百九拾圓六拾錢九厘

明治二十五年
度
明治二十六年
度

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 第五款ニ異議ガゴザリマセンケレバ、原案通ニ可決致シタ
モノト見マス、(異議ナシト呼ブ者アリ)第六ニ移リマス、是ハ既ニ何ノ
方デ——前ノ方デ削除シテアル分ガゴザリマスカラ、朗讀ハ省イテ置キマ
ス

○田健吉君(百二十四番) 是ハモウ削除ニナッタモノデアリマスカラシテ、直
ニドウゾ——

○議長(星亨君) 唯今動議ガアリマシタ如ク、即チ第六ハ即チ削除セラレタ
ル者ト認メテ、宜シイ譯デゴザリマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ソレナラバ削除セラレタ者ト決シマス、次ハ第七

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 是モ同ジク削除セラレタ者ト決シマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 左様致シマス、是ヨリ豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ
爲スヲ要スルモノト云フ案デゴザリマス、第一ヨリ會議ニ付シマスガ、是ハ

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 此事ハ昨日主査トシテ報告致シマスルコトモ落
朗讀ハ省キマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○和田彦次郎君(三十八番) 此ハ昨日主査トシテ報告致シマスルコトモ落
シテ居リマス、故ニ報告致シタウゴザリマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 宜シイ全體デスナ

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○和田彦次郎君(三十八番) ハイ

(和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○和田彦次郎君(三十八番) 諸君、此第一ニゴザリマサル豫算外國庫ノ負擔
ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノト云フコトニ附キマシテ、豫算委員ノ中

デ四科ニ分ケマシタ、是ハ第三科ニ屬シテ陸軍省管轄ノ分デゴザリマス、即
チ昨日第三科ノ報告ヲ致シマス節ニ、此報告モ致ス管デゴザリマシタガ、其際
漏シマシテゴザリマス、デ此處ニ報告致シマスル、此項ハ伊太利ノ砲兵少佐
ぶらつちやリにイト云フ者ヲ雇入レルサウデゴザリマスガ、素ト豫算委員
我トニ於キマシテモ外國人ヲ雇フト云フコトハ成ル可ク省キタイト云フ精神
ヨリ致シマシテ、之ヲ特ニ要シ、之ヲ備入レルノ必要ハ如何デアラウカト云
フコトヲ政府委員ニ質シマシテゴザリマス、其際政府委員ノ答ヘラレマスニ
ハ此事ハ尋常ノ教師トシテ雇フ者ニ非シマシテ、尤モ必要ナル者デアアル、ソレ
ハ先刻來御述ベニナツテ已ニ議了致シマシタ所ノ東京灣砲臺ノ如キ砲臺ガ出
來マシタ、處デ、之ニ備ヘナケレハナラヌ所ノ距離測量器及照準器ト云フ者ヲ
此外國人ヲ雇入レテ以テ、完全ナ物ヲ仕上ゲルト云フ計畫ヨリシテ此雇入ヲ
必要トスルト云フ説明デゴザリマシタ、如何ニモ其事ヲ聽キマスニ距離測量
器照準機ト云フモノハ砲臺ヲ備ヘル上ニ於キマシテ、最モ必要ノモノデゴザ
イマシテ、此距離測量照準機ト云フモノガ十分ヲ爲サヌトキハ砲臺ハアツテ
モ砲臺ノ用ヲ殆ド爲ササル如ク、我トハ考ヘマシテゴザリマス、故ニ此事ハ
他ノ外國人ヲ濫ニ雇入レルト違フテ最モ肝要ナモノト思ヒ、且ツ其費用ノ如
キハ説明ノ中ニゴザリマス通、明治二十五年陸軍省所管經費内ニ於テ支辨
シ得トアリマス、是等ハ簡便ニシテ支辨ノ上ニ於テハ敢テ考慮ヲ煩ス迄モナ
イコト、存シマス、砲臺ニ要スル大砲ノ實用ヲ全フスルニ當ツテ、缺クベカ
ラザル事柄ヲ爲ス人ヲ雇入レルノデアリマスカラ、相當ト存ジマシテ、豫算
委員會ニ於テ可決致シマシテゴザリマス、此段御報告致シマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) サスレバ決ヲ採リマスガ、原案ノ通決シテ宜シウゴザイマ
スカ

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 原案通ニ決シマス

○議長(星亨君) 是ヨリ海軍省ノ部デ第二ヨリ第五迄議ニ付シマス——朗讀
ハ省キマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 別ニ御異議ガナケレバ、原案通決シタモノト見テ宜シウゴ
ザイマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ソレデハ原案通……、第六ニ移リマスガ、第六ニハ修正モ
色々ゴザイマスカラ、原案ヲ一ツ朗讀致シテ……

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 第六ニ移リマスガ、第六ニハ修正モ

色々ゴザイマスカラ、原案ヲ一ツ朗讀致シテ……

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 第六ニ移リマスガ、第六ニハ修正モ

色々ゴザイマスカラ、原案ヲ一ツ朗讀致シテ……

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 第六ニ移リマスガ、第六ニハ修正モ

色々ゴザイマスカラ、原案ヲ一ツ朗讀致シテ……

(異議ナシト呼ブ者多シ)

(町田書記官朗讀)

第六

農商務省ニ於テ備外國人ノ満期ニヨリ更ニ續キ明治二十五年十一月十六

日以降滿二箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額三百五拾圓ヲ支給シ且家具ヲ備へ少
家屋一戸ヲ貸與スルノ契約ヲ結ビ而シテ滿期解僱年度ニ於テ歸國旅費八百
圓ヲ支給スルコトヲ得

○今井磯一郎君(百九十番) 通告致シテ置キマシタ

(今井磯一郎君演壇ニ登ル)

○今井磯一郎君(百九十番) 此農商務省所管ノ外國人雇續ノ件ヲ豫算委員會
ニ於テ削除ニナリマシタガ、私共ハ此削除スルコト云フコトニ就イテハ大ニ反
對ヲ致シマシタガ、豫算委員會ニ於キマシテハ不幸ニ少數デ倒レマシタ、サリ
ナガラ三分ノ一以上ノ同意ヲ以テ議長ノ手許ニ呈シ置キマシタ、此農商務
省ノ雇外國人ト云フモノハ一體ドウ云フコトヲスルカト云フコトハ、此理由
書ニアリマスル通諸君ハ御承知デゴザイマセウガ、重ニ地質調査ノコトニ從
事致シテ居リマス、今此地質調査局ノ必要デアルヤ否ヤト云フコトハ喋々ヲ
要セズ、諸君ノ御承知ノ通日本ノ今日ノ成立ハ全ク色ニ農ヲ以テ成立ッテ
居ル國デアリマスカラ、此農業ニ關係ノアル諸君地質調査ト云フコトハモウ
云フ迄モナイコトデアアル、殊ニ近年ハ追々此肥料ノ改良等ノコトガ發達シテ
參ッテ、人造肥料等ノコトガ盛ニ行レル様ニナッテ參ッタ、此際ニ當ッテハ
地質ノ如何ヲ能ク知ッテ居ラナケレバ、是ガ效用ノ薄イコトモ亦明ナコトデ
アル、之ニ就イテ大ニ關係ノアル雇外國人ヲ此際止メテ仕舞フト云フコトハ
實ニ農業ヲ思ハザルノ甚シキ御説ト云ッテ、決シテ詰ラナイコト、ハ思ハヌ
デス、此雇外國人ノ從事シテ居ルコトヲ政府委員ニ就イテ篤ト調べテ見マス
ルト、是迄二十四年度迄ハ此地質ノ調査ヲ終リマシタ縣ガ、——府縣ガ東京
大阪ヲ初トシテ其他十八縣ハ是迄調査済ニナッテ居ル、其他ハ今日調査シッ
ツアルト云フコトデアアル、斯ノ如ク折角日本全國ノ地質ヲ調査シヤウト掛ッテ
二府十八縣迄ハ既ニ調査済ニナッテ、是カラ後トハ此男ヲシテ從事セシムル
コトヲ止メルノハ甚ダ宜シクナイ、全體何事モ事ヲ容易ニ起スト云フコトハ
能クナイガ、又既定ノ事業ヲ半途ニシテ止メルト云フガ如キハ實ニ理財家ノ
取所デアナイ、而シテ此男ガ地產要論ノ特論ト云フモノヲ目下草案中デア
ル、是モ日本ノ農業其他ニ就イテモ誠ニ必要ナ類ノ草案ト云フコトデアアル、
サウシテ今二箇年モ此男ヲ繼續セシムレバ彼ガ技術ハ大抵日本人ニ貰受ケル
コトガ出來ルト云フコトヲ、政府委員ハ申シテ居リマス、是等ノコトニ就イ
テ考ヘテ見マシテモ、此際此項ヲ削除スルコト云フガ如キハ、餘リ外國人ヲ嫌
ハ過ギタ結果ト思ヒマス、百九十番ノ如キモ外國人ヲ雇入レルト云フコトハ
實ハ餘リ好マヌデアリマスガ、サリナガラ斯ノ如キ必要ニ迫ッテ居ル、實
ニ今日此事業ヲ執リツ、アル者ヲ、俄然此雇續ヲ止メルト云フコトハ取ラヌ
コトデアラウト存ジテ、此修正即チ三分ノ一以上ヲ以テ提出致シマシタカ
ラ、諸君希クハ日本農業ノ今日ノ有様ヲ能ク御察シニナッテ、御賛成アラ
ンコトヲ希望シマス

○植田清一郎君(二百九十五番) 私モ今井君ノ述ベラレタト同様デゴザイ

マス、ゴク長クモゴザイマセヌカラ、是カラ述ベタウゴザイマス

○議長(星亨君) 長クナケレバ宜シウゴザイマス

○植田清一郎君(二百九十五番) 長クハゴザイマセヌ……、要ハ大略今井
君ガ述ベラレマシタヤウデゴザイマスカラ、餘リ細イ所ハ省キマシテ、此土
性調査ノ必要ト認メマシタ要點ヲ摘ンデ申述ベマス、此土性調査ヲ必要ト
認メルノハ今日マデ如何ナルコトヲシテ來タカ、或ハ今日ハ如何ナルコトヲ
シテ居ルカ、又將來ハ如何ナルコトヲ爲スカト云フコトデアラウト思ヒマ
ス、然シテ今日迄如何ナルコトヲ爲シタカト云ヒマスルト、初メ調査ヲ施行
スルニ當リ海外諸邦ニ於ケル調査ノ方法ヲ參酌シテ、殊ニ本邦ニ適當スベキ
モノヲ採ッテ施行シテ居ルノデアアル、各府縣ノ調査ノ濟シタ府縣ハ今井君カ
ラ述ベラレタカラ略シマスガ、此方法タルヤ極メテ日本ノ地ニ適スル方向
デアアル、千八百八十九年ニハ佛國ニ於テ開設シマシタ萬國博覽會ニ於テ金牌
ヲ與ヘラレタヤウナ譯デ、目下ハ斯ノ如クデアアルガ、コレナラ將來ハ如何ナ
ルコトヲ爲スカト云ベバ、此土地ノ調査ト云フモノハ學術上ノ成績ヲ實地ニ
應用スルノデ、其方法ノ調査即チ土壤ノ植物ヲ養フノ度合ヲ判定スルノハ、
一ニ此理化學的ノ試験ニ據ラザルヲ得ナイノデアリマス、今日耕シテ居ル耕
地ニ於テハ肥料ノ經濟ヲ整理シ、耕種肥培ニ係ル出費ヲ減少シ、且ツ國家生
產ノ肥料ヲ費スルノ不經濟ヲ免ル、ニアルノデゴザイマス、又未耕地ニ
アッテハ肥料經濟ヲ整理シ是ガ開拓ヲ容易ニスルノデアアル、又土地ノ等級ニ
甲乙ノアルノハ土壤ノ植物ヲ養フ、即チ地力ノ優劣ニ基クノデゴザイマス、然
シテ土性ト植物ノ關係ヲ明ニスレバ簡單ニ地力ノ優劣ヲ識別スルノ試験法ヲ
研究スルコトガ出來得ルト思フ、尙ホ一ツ此事業ヲ繼續スルニ就イテ政府ニ
向ッテ要求シタイコトガアルノデゴザイマスガ、是ハ本會期ニハ要求シナイ
考デゴザイマスガ、概略此要求ノ要點ヲ述ベテ置キタイト云フノハ外デ
ハナイ、此日本ニ澤山アル所ノ原野デアリマス、此原野ト云フモノハ三十六
萬九千三百箇所アッテ、官有ノモノガ一千八百二十五百七町步デアッテ、民有
ノモノガ百五十八千九百八十三町步、是ガ總計ハ一千四百十四萬幾ラカノ原野
ガアル、此原野ハ目下聊カノ利益モナイ、是ヲバドウゾ調査ヲシテ耕地ニ爲
スベキモノハ……、之ヲ開墾シ得ベキモノハ、之ヲ開墾スル、併シ又或ハ最
早耕地トスル開墾スル見込ガナイモノナラバ、之ヲ山林ニスルトカ是等ノ處
分ヲ附ケナケレバ、實ニ國家ノ大不經濟デアアルノデゴザイマス、殊ニ此備入レ
テアルモノヲ儲繼ギタイト云フ點ニ至リマシテハ、誠ニ必要缺クベカラザル
話デアッテ、實ニ今日迄ノ試験ノ成績ト云ヒ、又學術上ヨリシテ之ヲ益
應用セシムルコトハ誠ニ必要デアアルノデゴザイマス、コレ今日迄此人ガ
跋渉シテ得タル所ノ結果ト云フモノハ、北海道ノ植民論日本農業論、又日本ノ
農業經濟ニ關スル書物ナドヲ著ハシテ居ル、其成績ヤ著書ニ就イテ見レバ分
カル、目下日本ノ地產論ヲ編輯中デアッテ以上述ベマスル通、學術ナリ經
驗ナリ積年ノ研究ヲ要スルコトデゴザイマスレバ、相成ルベクハ此人ヲ備

繼グコトニ致シマスナラバ、大ニ我國ヲ利益スルコト、思ヒマス、我國ノ本
ハ農業ヲ以テ基本トナシ根本トスル國デゴザイマスカラ、ドウシテモ此農業
上ノ方針ヲ定メナケレバナラナイ、此方針ハ大農ニアルト云ツタ所デ、人口
ナリ土地ノ廣狹ナリ地形ナリ色々ノ關係モゴザイマスカラ、差向ノ所ハ精農
ト云フコトガ宜カラウト思フ、精農ト云ヘバ必ズ先ヅ第一ニ地性ノ調査ヲ爲
シ、地質ト植物ノ關係ヲ調査シナケレバナラナイ、ソレニハ此人ハ最モ必要
ノ人デアアルカラ備繼ギタイデ、此日本ハ御承知ノ通近頃長大足ノ進歩ヲ致シ
マシタガ、未ダ振ハザル所ノモノハ第一基本トスル所ノ農業ノ振ハザルコト
デアツテ、我々ハ多年之ヲ憂ヘテ居ルノデアアル、此必要ナル農業ノ振ハザル
人ノ屋外國人ヲ廢スルト云フノハ、我々ノ實ニ遺憾ノ至ニ存シマス、凡ソ總
テ此國事ヲ談シマスル者ハ、皆富國強兵ト云フコトヲ申シマスガ、此富國強
兵ト云フテモ今日迄未ダ一向ニ其實ヲ見ナイノデアリマス、國家ノ發達ヲ
爲スニ就イテハ色々他ニ途モアリマセウガ、先ヅ我國ニ於テハ農業ヲ以テ基
本ト致シマスカラ、此基本トスル農業ニ對シテハ、十分ノ調査ヲシナケレバ
ナラヌト思フ、何分是ハ備繼ヲ承諾スルコトニ御賛成アラントヲ、私ハ切
ニ國ノためニ希望致シマス

○湯淺治郎君(百二十番) 簡單デゴザイマスカラ、此處デ申シマス(鈴木萬
次郎君今ノヤウナ簡短デハト呼ブ) 決シテ今ノヤウナ簡單デハナイ、第六ノ
地質調査ニ要スル外國人ノ備入滿期ノ備入ヲ削除致シマスナラハ、先刻來異
論ノアルヤウニ……、地質調査ガ不必要デアアル、又農業ノ盛衰ニ構ハヌ、其
事業ハ二府十八縣ニ止ツテ、後トハシナクテモ宜イト云フ主意デハアリマセ
ヌ、唯此外國人ガ無クテモ其事業ハ出來ル、日本ノ農業ノ盛衰ハ唯外國人一
人ノためニハ格別ノ關係ガナイト云フマデニ過ギマセヌ、ソレガ委員會ノ報
告ノ要旨デアアル、處デ百二十番ハ改メテ之ニ賛成、原案賛成ノ諸君ニ反對ス
ル、即チ委員會ノ削除說ニ同意スル者デアリマス

(政府委員農商務次官西村捨三君演壇ニ登ル)

○政府委員(西村捨三君) ふいすか氏ノ此履繼ノ一條デゴザイマスガ、唯今
今井君ナリ何ニナリノ御演說モアリマシタガ、豫算委員ノ小數者ノ御意見ハ
十分ニ拜聽ヲ致シマシタ、エー此人ハ先年駒場農學校ヘ十五年ニ雇入レタ
人デゴザイマス、今日迄十年一日ノ如ク駒場ノ農學校ノ教師ナリ、地質ノ調
査ナリニ從事シタ人デアリマス、此地質ノ調査タルヤ實ニ此人ハ獨逸ノ人デ
ゴザリマシテ、地質調査上ノ事ニハ精シクテ獨逸國デモ指ヲ屈スル人ト承ッ
テ居リマス、其成績ハ昨年農商務省ノ陳列品ヲ御覽ニナリマシタ節……、澤
山繪圖ヲ諸君ニ御覽ニ入レタ積デゴザイマス、即チ三府十八縣ノ報告ガ出來
マシテ、土地ノ調査ハ申スニ及ハヌ、土壤ノ調査ハ斯ウ云フヤウナ短カイぐら
ズノ中ニ幾千トナク觀覽ニ供シタ次第デゴザイマス、ナカクノ御骨折ト言
ハネバナリマセヌ、然リマスル所今年備繼ヲシマスルノハ、唯今地質調査ニ
從事シテ居リマスル技師ガ十名、試補ガ五名デゴザイマス、ナカクノ十五名

ト云フ澤山ナリヲ以テ仕事ヲスルコトハ外ニハ澤山ハアリマセヌ、ドウカ是
カラ全國ノ地質ノ検査ヲ終リタイト云フコトデアリマス、成程湯淺君ノ御說
ニモ最早十年ノ經驗モアルカラ要ルマイト云フコトデアリマスガ、今二年備
繼マストソレニ從事シテ居リマスル技師ハ、悉ク皆傳口傳ヲ受ケテ仕舞フ
譯ニナリマス、ソレニ茲デ備繼マセヌト、折角編制シテ居ル地產要論續篇ノ
編制モ出來上リマセヌデ、所謂功ヲ一簣ニ缺クデアリマス、萬一此備繼ヲ
止メマストレバ、此處事ノ遺奧ヲ叩クコトガ出來ヌ、ソレデ他日或ハ又外國ニ
人ヲ遣ルコトデモ出來マストレバ却テ高ク附キマス、餘リ高イ人デモアリマセ
ヌ三百五十圓ノ月俸デゴザイマスカラ、ドウカ此今一年ノ備繼ヲ希望シマス、
農商務省ハ農業上ノ發達ノ責ガアル所デアリマスガ、僅カふいすか氏一人備
フ外アリマセヌ、外ニわぐねるト云フ人ガ講義ノ事ヤ何カデ文部省ト歩合ニ
工業學校ニ備フテアル式デアリマスガ、此僅カ一人ノふいすか氏デアリマシ
テ、今年二年デ其遺奧ヲ極ハメルト云フ譯デ揭ゲタノデアリマス、之ヲ備繼デ
バ仕事モ出來上リマスガ、茲デ止メレバ農商務省デハ殘念千萬デ、爾後農商
務省ノ發達ニ就イテモ遺憾千萬デゴザイマスカラ、何卒御協賛アラントヲ
望ミマス

○末松謙澄君(二百六十九番) 本員モ簡單デゴザイマスカラ、茲デ述べマス、
本員モ報告ヲ賛成スルモノデアリマスガ、委イコトモ申シマセヌガ、抑、斯
ノ如キ事ニ就キマシテ僅カ二年間ノコトニ附イテ國家ニ利益ガ何レ程アルダ
ラウカ、民力ノ休養ニドレ丈ノ關係ガアルカト云フコトヲ考ヘ、サウシテ此
事ニ幾分ノ利益ガアルカト云フコトヲ考ヘ、成程地質調査ニ外國
人ヲ使フテ此處ノ土ヲ掘リ、彼處ノ土ヲ掘ツタ所ガ何ニ分ルモノカ、我々ハ
麥ヲ作り稻ヲ作ルコトハ外國人ヨリモ能ク承知シテ居ルト云フ淺薄ノ議論モ
アリマス、成程日本ニハ農學士モ居ツテ、其農學士ハ老農老圃ニモ如カズト
云フコトハ現在アルノデゴザイマス、而シテ從來老農老圃ナルモノハ總テノ
事、總テノ規律立ツタ事ハナク、學術上ニ適シタ事ハ少イノデアアルカラ、此
問ニ於テ學術上ノ利益ヲ發見スルノハ、將來餘程必要ナコトデアアル、然ルニ
從來ニ於キマシテ或ハ學問ヲシテ大學デモ卒業スレバ餘程信用シタノデ、大
學校ヲ卒業シ法律學校トカ何カヲ卒業シテ、ソレデ政治ガ出來ルトカ、理科
ヲ卒業スレバ立派ニ其道路工事トカ總テノコトガ出來ルガ如ク思ッテ居ツテ、
サア學士、ヤレ學士ト云フ者ガアツタノデアアル、然ルニ實際卒業シテ直ニ一切
ノコトハ出來ヌノデ、是ハ無理ハナイ、外國杯ニ行キマシテモ、サウ多ク人
ニ勝レタ智慧ガ附クモノデモナク、又經驗ガ出來ルモノデモアリマセヌ、然
ルニ日本ニ於テ信用ヲ多ク置キ過ギタ、其信用ヲ多ク置キ過ギマシタガ、是
ハ實際段々考ヘテ見マスト、甚ダ其當ヲ得ヌ話デアラウト思ヒマス、而シテ
此地質調査ノ事ニ就キマシテ尋ネテ見レバ、湯淺君カ誰カ述べマシタノニ、
地質ヲ調査セントスレバ農學家ニ質セバ分カルト云フガ、成程ソレニ相違ナ
イ、併ナガラ之ニハ幾分カノ學術的ノ利用ヲ發明シテ、其土臺ヲ得タナラバ

今ヨリ益ヲ加フルコトガアルカ知レヌ、而シテ外國人ガナクツテモソレニ就
イテ居ツタ者デ、出來ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、是ハ信シラレナイノ
デアル、先ツキノ大學校ヲ卒業スレバ立派ニ出來ルト思フテ居ツタ如キ不都
合ヲ來タスコトガアリハセヌカト思ヒマス、十五年ノ今日ニ至ル迄親シク傍
フニ就イテ居ツタカラ、大抵ノ事柄ハ覺エテ居マセウガ、マダ、此教師ガ
知ツテ居ル丈ハ覺エラレヌ、マダ覺エ盡シテ立派ナコトガ出來ルト云フノハ、
以前學者ヲ買ヒ過ギタト同ジ様デアリマス、故ニ之ヲ削ル様ナコトデハ大變
ナ不都合ヲ生ズルノデアル、而シテ此問題バカリデナク、彼ノ地質學上ニ於
テモ土ヲ掘ルバカリデハナイ、之ニ關係シタ所ノ學術上ノ著書モ澤山アル、
日本ニハ出來ヌ様ナモノデ、賞讀致シテ居ツタコトヲ聞イタ、私モ其書物ヲ
見タコトモゴザイマス、是等ノ事ハ之ニ附屬シタ利益ト言フテ宜シイ、而シ
テ又(簡短々々ト呼ブ者アリ)日本デ仕掛ケタ仕事ヲ途中カラ止メテ仕舞フト
云フ評ヲ受クルコトハ好マヌコトデアアル、僅カ二年位置イテ其金高ハ多イカ
ト云フト、僅カ一箇月三百五十圓二箇年ニシテ幾ラデアリマセウ、三千七百
五十圓ガ二ツ(笑聲起ル)サウデハナイ四千二百圓ヲ二ツ……是ハ僅カノ金ダ
是位ノ事ヲヤツサ、言フテ經費節減ト云フテ、大ニ威張ツテヤルコトデモ
ナカラウ、外ノ所デ之ヲ削リマスレバ削レマセウ、此位ナモノヲ取ル場所ハ
澤山アルノデアリマス、此金ガ宜イコトデアアルカラ之ヲ削ルト云フコトハ致
サヌガ宜イト思ヒマス、少數者ノ意見ヲ贊成致シマス

○議長(星亨君) 御異論ガナケレバ決ヲ採リマセウ

○大坪利晋君(百十六番) 私ハ簡短デアリマスカラ、茲デ(早川龍介君簡單
簡單ト云ツテモ長クナルカラ演壇デ願ヒマス)私ハ贊成者ノ一人デゴザイマス
ガ、一言申シタイ、豫算委員會デ以テ少數デ倒レタト申シテモ、總カ二名カ
三名ノコトデ、熱心ニ此必要ヲ説クモノモアルノデ、私ガ段々諸君ノ言フ所
ヲ見渡セバ諸君ハ贊成者ガ少ナク様ニ思ハレテ居ルト考ヘマスガ、少數
者ト云フテモ今申シタ通ノコトデアリマスカラ其事ヲ申シマス

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、修正案ガゴザリマシテ、又削除説モゴザイ
マスカラ、先ツ修正案カラシテ先キニ採リマス、——サウデスカ、ソレデハ
原案ノ決ヲ採レバ宜イ、即チ原案ノ決ヲ採ツテ削除説ハ……、サスレバ原案
ニ贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、即チ是ハ原案ニ決シマス、是ヨリ第七
朗讀ハ略シマス、第七ハ御議論ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレナレバ原案ノ通ニ決シマシタモノト認メマス、是ヨリ
第八ト第九會議ニ付シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 別ニ異議ガナケレバ原案ニ可決シタモノト認メマス、是ヨ

リ第十……

○長谷川泰君(百七十二番) 第十ノ簡條ニ就イテ政府委員ニ御尋致シタイ、
政府委員ニ御尋致シマスガ、此第十ノ外國教師雇入ノ簡條デアリマスガ、此大
層古イ教師ヲ御雇ニナリマスノハ如何ナルコトデアリマスカ、最モ理由ハ茲
ニ掲ゲテアリマスケレドモ解セナイ、本員ナドノ見ル所デハ總テ此理化學等
ノ教授ニ從事スル教師ハ、成ルベク新シイ新手法雇入レタ方ガ宜シカラウト
考ヘマス、ドウシテ斯ノ如キ古イ者ヲ續ケテ御雇ニナリマスカ、之ヲ御尋致
シマス御答ヲ得タイ

(政府委員文部次官辻新次君演壇ニ登ル)

○政府委員(辻新次君) 唯今百七十二番カラノ御問ガアリマシタガ、先ツ以
テ此第十即チ帝國大學ノ教師ノ項デアリマス、此教師ノ必要ナルコトヲ申述
ベマシタナラバ、唯今ノ御問ニ對シテモ答ニナリマセウト思ヒマス……

○長谷川泰君(百七十二番) 本員ノ政府委員ニ御尋致シタノハ、外國人ガ必
要デアルカナイカト云フコトヲ御尋シタノデハナイ、外國人ハ必要デアアル、
然レドモ願クハ若シ雇入レマスナラバ新シイ新規ナ者ヲアチカラ雇入ニナ
ラヌ以上ハ、物理學ニシロ、化學ニシロ、醫學ニシロ、二三年モ立チマス
古クナツテ用ヲ爲サナイ、然ルニ何故二十五年モ二十年モ古イ者ヲ御雇ニナ
ルノデアリマセウカ、尤モ講釋附キモアリマスケレドモ、此講釋ハ本員ハ感
服致サヌノデアアル、ソレ故ニ御尋致シマス

○政府委員(辻新次君) 本官ハ必要ノコトヲ述ベサヘスレバ御答ニナリマ
ス、若シソレデ御不足ナラバ御問ナサイ、勿論唯今百七十二番モ述ベラレル
通、此帝國大學ニ外國教師ノ必要ナコトハ認メテ居ラレルヤウデアリマス、
諸君モ御承知ノ通歐洲ノ學術ヲ採リマス以上ハ、ソレヲ採ルノニ必要ノ部分
丈ハドウシテモ置カナケレバナリマセヌ譯デアリマス、ソコデ今回此教師ノ
中ニ雇繼グノト雇替ヘルノトガアリマス、新シク入レルノモアリマスガ、其從
前カラ居ル人ヲ雇入レナケレバナラヌト云フコトハ、是レ亦ドウシテモ其人
デナケレバナラヌト云フ次第ガアリマス、勿論今日ノ學術ノ日ニ驟々ト進
デ行クコトハ誠ニ明ナコトデアリマス、併ナガラ又學術ヲ學生ニ授クルノ
ニハ其學術ノ熟達教授ノ熟練ト云フコトモ必要デアリマスシ、ソレカラ帝國
大學ハ御承知モアリマス通種々ノ學科ガアリマシテ、其學科ニ依ツテハ唯
ドレ程ノ學者デアリマシタカラト云ツテ、一年ヤ二年デ我國ノ狀態我國ノ
得失ノアルコトハ分リマセヌ、之ヲ以テ十分ニ熟練シタ人ヲ置カナケレバ
ラヌト云フコトデアリマス、ソレ故假令年數ハ古イ人デモ、其學科ニ依ツ
テハ所謂熟練、——我國ノ物ニ就イテ實習ヲ經タ者ニ要用ノ學科ガアリマス、
ソレカラモウ一ツハ成程歐洲ノ具中ニ居ルヤウナ譯ニハ行キマセヌガ、苟
クモ大學ノ教師位ナ地位ニ居リマス者デアリマスレバ、決シテコツチニ來テ
居ツタカラシテ、凡デ學術ガ乏シクナルト云フコトハゴザイマス、處デ是等ハ私
日ニ進ミマス所ノ學術ヲ得ル手段ト云フモノハ十分デアリマス、處デ是等ハ私

ガ喋々致シマセストモ百七十二番ノ如キ方ニ於テハ十分ニ御分リニナッテ居ルコト、思ヒマスカラシテ、委シイコトハ述ベマセヌ、處デ此第十八人ノ中二人削ツラレテ居ルコトデアリマスガ、今申述ベマス通實ニ缺クベカラザル所ノモノデアリマスカラシテ、若シ之ガ缺ケマスルヤウナコトデアリマスレバ、忽チ大學ノ授業上ニ差支ヲ起スコトデアリマスカラシテ、ドウゾ諸君何分ニモ原案ニ復サレシコトヲ、切ニ希望致シマス

○工藤行幹君(百六十六番) 一寸豫算委員ニ尋ネマスガ、此第十ト云フノハ豫算委員ノ見込ガ何トモ書イテアリマセヌガ、ドウ云フ御見込デアリマスカ

(此時正誤ガアルト呼ブ者アリ)

○中村彌六君(二百二十九番) 修正説ガアリマス、發言ヲ求メマス

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(二百二十九番) 本員ハ此大學ノ部ノ第十ノ仕舞カラ二番目ノ所デゴザリマス、此原案ヲ——七枚目デス、一名ハ明治二十六年八月一日ヨリ向フ同二十八年七月三十一日迄ノ期限ヲ以テ俸給三百五十圓云々トゴザリマスノヲ、之ヲ修正致シテ明治二十五年括弧ノ中ニ、契約ニ定メタル日ヨリ向フ三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓ヲ支給シ、——三百五十圓ヲ五百圓トシ、備入年度ニ於テ來航旅費六十五圓、歸航旅費六十五圓ヲ支給スル、斯様ニ修正ヲ致シタイノデゴザリマス、尙ホ此要求書ノ五枚目ヲ御覽ヲ願ヒタイ、五頁デス、コ、ニ内科學擔當トゴザリマス、備入期限ガ明治二十六年八月一日ヨリ同二十八年七月三十一日迄トゴザリマスノヲ、之ヲ契約ニ定メタル日ヨリ向フ三箇年月俸金三百五十圓トゴザリマスノヲ五百圓ト致シタイ、シテ此理由ニナルハ現今内科學ノ教師ニシテ明治二十五年七月十一日満期ノ處、満期ニ就キ前記ノ條件ヲ以テ更ニ其第二ノ雇入ヲ要ス、斯ウ云フ意味ニシタイノデゴザリマス、ソレニ附キマシテ一言何ガ故ニ此修正ヲシタイト云フコトノ理由ヲ陳ベマス、元來此東洋ニ參リマシテ長ラク從事致シマスルト云フト、大分日進ノ今日ノ學問ニ後レルト云フコトハ必然ノコトデアル、唯今文部次官ハ立派ナル教授モスル様ナル者デアッテ、其様ナルコトハナイイカノ如ク御話デゴザリマシタガ、從來我國ニ永ク居リマシタ者ガ、彼ノ國ニ歸ッテ如何ナル事ヲシテ居ルカト云フコトヲ、文部次官ハ知ッテ居ラル、カ知リマセヌ、往々其業ト云フモノハ殆ド廢シテ居ルデ、其甚シキニ至レバ現ニ一昨年迄日本ニ居ッテ四百圓カ貰ッタ者ガ、最早向フへ行ッテ三十弗シカ貰ラヘヌノデアアル、人ノ榮譽ニ關シマスカラ名前ハ申シマセヌガ、然ルニ此敢テ是ハ海外ニ例ヲ求ムルニ及バズシテ、今日進歩スル學問デアッテ、日本國中デアッテモ地方ノゴク小サナ都府へ行ッテ三年ト十年行ッテ御覽ナサイ、餘程ノ者デモ今日ノ世ノ中ニ追附イテ行カヌコトニナッテ來ル、ソレト同シクモソツツソレヨリ激シイ懸隔ノアル、此大學杯ニ於キマシテハ、最早繼續トシテ三年備繼モ、モウ一遍三年繼續グト六年以上備繼グト云フコトニナリマスレバ、學問ノ進歩ト云フモノヲ期スルコトガ出來ヌト、斯

ウ私ハ信ジテ居ル、此人ハ慥カ明治九年備入レテ居ラル、最早學問ノ時代カラ言フト隨分古代ノ人ト言ハザルヲ得ヌ、ソレデ現ニ此事モ諸君ハ御承知デナイイカ知レマセヌガ、是迄此人カ何カ知リマセヌガ、大學ニ或一人ノ教員ガアッテ、ドウガナ之ヲ代ヘタイト云フコトハ教授學生杯ガ從來カラ之ヲ希望シテ居ッタデス、或ル一遍辛ニシテ歸シタ所ガ、或ル二個ノ有力ナル所ノ外交官カラ責メラレテ、止ムヲ得ヌ又、連レテ來タト云フコトヲ承ッテ居ル、ソレ故ニゴク過激ナル論者ハ全ク大學ハ貴族ノ養育院ダト云フマデニ議論スル人ガゴザリマシタ、現ニ私が其一例ヲ舉ゲテ見ルニ、今大變ニ學問ニ依ッテ採ルト云フ様ナ次官ノ説明デゴザリマシタガ、是ハ餘リ名譽ニ關シマスカラ言ヒマセヌガ、現ニ私モ知ッテ居ルコトデ、慥カ昨年ノコトデゴザリマシタ、ミスノ學問ガ能ク出來テ熱心デ日本ノ爲メニシテ居ル者ノ方ハ儲繼ガレナクッテ、サウシテ學問モ劣ッテ居ル所ノ教授上ニ對シテモ幾分カ劣ッテ居ル、先ヅ比較ニ致シタラ乙ト云フ者ノ方ガ金ヲ殖ヤシテ儲繼ニナタノガ現ニアルデゴザリマセヌカ、ソレハ何ダト云フト唯跳リガ上手ト云フ一點デアリマス、是丈ハ私共實ニ残念デアル、我國ノ學問ヲ進メテ往ク所ノ中心デアアルカラ、此大學ト云フモノハ斯ル俗氣ノタメニ蔽ハレテ下ラナイ鹽梅ニナッテハ、實ニ慨嘆ニ堪ヘナイ、——デ是等ニモサウ云フコトモゴザリマスマスガ、最早明治九年カラ儲繼ノ人デゴザリマシテ見レバ、通常デアレバ金ガ殖エナケレバナラヌノデアアル、然ルニ今五百圓カラ取ッテ居ルノガ三百五十圓ニ減ラサル、ト云フコトニナッテ、ソレデ甘ズルト云フコトニナル、是ハドウ云フ處カラ來テ居ルト云フコトヲ推究シテモ分ル、私ハドウゾ此學問ヲ進歩サセテ大學ヲ立派ナルモノニシタイガタメニ、必要ナル金ハ惜マナイ、故ニ儲フナラバモソツツ高ク出シテ五百圓位ハ出サンケレバ本統ノ人ハ來ナイデアアル、故ニ月俸ト云フモノハ三百五十圓ト云フモノヲ五百圓ト爲シテ、而シテ代員ヲ儲フテ貰ヒタイト云フノ趣意デゴザリマス、事小ナルガ如クデゴザリマスルガ、此學問ヲ進歩サセルニ附キマシテ隨分非常ナ關係ヲ有シ、又從來言フベカラサル弊害ガ、此學術社會マデニ及ンデ居ル所ヲ一變スルノハ此時期デアラウト思ヒマス、願クハ之ニ御賛成アラントト希望致シマスデ、唐突ノ場合デゴザイマスカラ豫メ賛成ノ方ノ記名致シテ出シタノデゴザイマセヌ、故ニ二十名ノ賛成ヲ要スルコトデアリマスルデ、願クバ此案ガ成立チマスル様ニ御賛成アラントヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 贊成ハ二十八人程アリマシタカ

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○曾我部道夫君(八十二番) 今ノハ二人削ッタアトデゴザイマスカ、削ラナイデサウヤルノデスカ

○議長(星亨君) 八十二番モウ一遍御シヤッテ下サイ

○曾我部道夫君(八十二番) 今ノ御發議デアリマス、此修正案ニ二人削ッテ

アリマスガ、唯今ノ御發議ハ矢張二人割ツタアトノコトデゴザイマスカ
○中村彌六君(二百二十九番) 左様デゴザイマス
○議長(星亨君) 修正ノ動議ガ成立テ居リマスカラ、是ヨリ之ニ附イテ御議
論ガアルナラバ、ナサルコトニ願ヒマス

○長谷川泰君(百七十二番) 聊カ賛成ノ意見ヲ述ベタイガ、茲デ宜シウゴザ
イマスカ

○議長(星亨君) 左様、長ケレバ此處ヘ

○長谷川泰君(百七十二番) 簡單デス、極ク簡單デス

○議長(星亨君) ソコデモ宜シイガ、聞エヌデセウ

○長谷川泰君(百七十二番) イヤ、聞エヌ人ハ聞エナイデモ宜シイ

(演壇ニ往キ給ヘト呼ブ者アリ)

○長谷川泰君(百七十二番) イヤ、短イカラ演壇ニ登ル程ノコトハナイ、本
員ガ二百二十九番ノ修正ヲ賛成ヲ致シマス所以ハ、(聞エヌ聞エヌト呼ブ者
アリ)即チ同番ト同意見デアリマス、政府委員ハ博物究理ノ科學ニ關係スル
教員ハ二十年三十年古クテモ宜シイト言ハレマシタガ、實ニ驚入ツタ御言葉
ト言ハナケレバナラス、丁度二百二十九番ガ申サレマス通、内地ニ於テモ
醫學士トカ何トカ云フ者ガ地方ニ往ツテ兩三年居リマスルト、カラ往ケナク
ナル、日一日ト變ハリマスル日進ノ博物究理ノ學問ニ對シテ、古イモノガ宜
シイト言フノハ如何ナコトデアリマス、詰リ別言致シマスルト、西洋人ヲ
置キマスノハ、詰リ日本人ニ刺戟ヲ與ヘルカメデアリマス、其刺戟ハ日本
ニ新キ價值ヲ持ツト云フモノデアル、ソレガ古イモノナレバ其刺戟ヲ與ヘルコ
トガ出來ヌ、ソレ故ニ詰リ學問ノ……日本ノ學問ヲ十分ニ進ムルコトガ出來
ヌト云フ結果ヲ來スカラ、依ッテ本員ハ二百二十九番ノ修正案ヲ諸手デ賛成
致シマスル一人デアリマス

○政府委員(辻新次君) 一寸事實ノ相違ノ所丈ハ能ク辯明シテ置カナケレバ
ナラヌト思ヒマス、唯今中村君ノ御説ノ中……

(聞エヌ演壇ニト呼ブ者アリ)

○政府委員(辻新次君) 最モ簡單デ分リマス、何カ色々御演説ガアツタガ、

是ハ少シモ本官ガ説明スルニ及バヌガ、事實ノコトハ説明シテ置カナケレバ
ナラヌモノガアリマス、現在四百八十圓ノ者ヲ三百五十圓デ雇フ、ソレカラ
レテ即チ彼レノ學術ガサウ十分デ無カラウカト云フヤウナ御演説デゴザリマ
シタガ、是ハ全ク左様ナ次第デアリマセズ、此人ハ今迄全部若シ使フナレ
バ四百八十圓デハ使ヘナイ、承諾シナイ、故ニ或部分ハ彼ニ持タセズンテ
モ、ドウガナコチラデ往クカラ、今度スツト時間ヲ減ジテ遂ニ三百五十圓デ
使フノデアリマスカラ、ドウゾ左様御承知置キヲ願ヒマス

○太田實君(百四十番) 本員ハ反對デモ何デモナイガ、唯發議者及議場ニ御
相談ヲスル、此三百圓ヲ五百圓ニスルトカ何トカ云フコトハ、議案ヲ議スル性

質上ニ少シク違フ所ガ出來ヤセヌカ、何トナレバ本案ヲ今議シテ居ル場合ハ
契約ヲ爲スコトヲ許サヤ否ヤニ就イテ議シテ居ルノデ、立入テ金額ノ如何ヲ
云フノハ説明ノ位置デアル、然ルニ三百圓ヲ五百圓ニスルトカ何トカ云フノ
ハ、議事ノ整理上ドウデアラウカ、甚ダ本員等ハ迷フ所デアリマスシ、且ツ
多少不相當デハナイカト思ヒマス、事柄ニ就イテ……ソレデ之ヲ發議者及議
場ニ御相談ヲ申スノデアル

○田庭吉君(百二十四番) 決シテ説明デアリマセヌ、議案ノ本文デアリマ
スカラ、差支アリマセヌ

○中村彌六君(二百二十九番) 議案ノ本文ニゴザイマス

○議長(星亨君) 百九十番——二人ヲ除クトカ何トカ云フコトハ分ツテ居リ
マス、百九十番ニ聽キマスガ、ソレハドツカニ報告ニデモ成ツテ居リマス

○今井磯一郎君(百九十番) ソレヲ發言シヤウト思フテ居リマシタガ、豫算
委員會ガ十人ノ中……

○議長(星亨君) コチラヘ來テヤツテ下サイ

(今井磯一郎君演壇ニ登ル)

○今井磯一郎君(百九十番) 豫算委員會ニ於キマシテ此帝國大學ノ雇繼ノ外
國人十名ノ中二人ヲ創リマシテ、八人ヲ認可致シマシタ、其二人ヲ創リマシ
タト云フモノハ、茲ニゴザイマスル獨逸文學擔當トアリマシテ、月俸金二百
五十圓トアル、此一人ト……

○議長(星亨君) 豫算ノ何條デアリマス、例ヘバ一ツ二ツ三ツ四ツ……

○今井磯一郎君(百九十番) 四ツ目デス、三ツ目ノ次ノ四ツ目デス

○議長(星亨君) 三ツ目ニ四ツ目デスカ

○今井磯一郎君(百九十番) 詰リ三ツ目ノ次ノ四ツ目ニアルノデス、ソレカ
ラ末項ニアリマスル月俸ガ百二十五圓トアリマス、此一人ト併セテ二人ヲ

認可ヲ與ヘヌノデス、シマシテ高等商業學校ノ部デ末ニアリマスル所ノ月俸
百圓トアリマス、即チ伊太利語學獨逸語學ノ擔當デゴザイマス、此一人ヲ

認可ヲ與ヘヌノデス、第一高等商業學校ノ内英語學擔當月俸百五十圓トアル一
人ニ認可ヲ與ヘヌノデス、(何處ダカ一向分ラヌ何枚目ノ何處ト言ハナイデ

ヤア分ラヌ、分ラヌ分ラヌ何項デスカト呼ブ者アリ)分ラナイナレバ第一高
等商業學校ノ(何枚目デスカト呼ブ者アリ)末ノ一人デス、(何枚目ト仰シヤツテ

下サイ分リマセヌト呼ブ者アリ)今私が申シタ所デ御覽ニナレバ分ル一人
カナ、英語學ノ教師ニシテ一人シカナイ、(枚數ガ書イテアルカラ何頁ト

仰シヤイト呼ブ者アリ)十頁二人目(要求書デスカト呼ブ者アリ)要求書デス、
(議案デナクチャアイキマスミイト呼ブ者アリ)議案ノ方ナラ此處ニ持ッテ來

ナカツタカラ、(笑聲起ル)議案ト云フナラバ一遍席ヘ歸ラナケレバイキマセ
ヌ、(此時種々發言スル者アリテ笑聲起ル)一々何枚目ノ何ト申上グデモ此

何學校ノ幾人目ト云フコト、月俸ガ何程ト云フコトヲ御承知ニナツタラ、大抵
御分リニナラウト思フ、併シドウシテモ御分リガナケリヤア取調ベテ御報道

致シマス

(田中正造君、マダ御歸ハ早フゴザイマスと呼ビ笑聲起ル)

(政府委員文部次官辻新次君演壇ニ登ル)

○政府委員(辻新次君) 唯今第十第十一第十二ノ削除ニナリマシタコトヲ今舉ゲテ述ベラレマシタカラシテ、何處ヲ削除ニナルコトガハッキリ致シマシタ、就キマシテハ一言申述ベテ置キタイノデアリマス、第十即チ帝國大學、其帝國大學デハ獨逸文學ノ擔當ノ教師デス、即チ此要求書ノ方デ申スデス、(要求書デナイ原案書デセウと呼ブ者アリ) 月俸銀貳百五十拾圓ノ教師デス、ソレカラ第十一項デモウ一人、ソレハ佛語及佛文學擔當デ銀貳百二十五圓ノ分デゴザイマス、ソレカラ第十二項カ即チ高等商業學校デハ伊太利語學獨乙語學擔當ノ月俸百圓ノ教師、第十二即チ第一高等商業學校デ英語學擔當ノ月俸通貨百五十圓ノ分ヲ削ラレルコトガハッキリ致シマシタ、處ガ唯今斯ノ如ク語學文學ノ教師ハ是ハドウシテモ外國ノ教師デナケレバ到底イケヌコトハ、誠ニ明瞭ナコトデアリマシテ、此外國ノ文學語學ハ到底其コチヲ人デハ十分ニ爲シ能ハナイ處デゴザイマスカラシテ、是等ヲ缺カレマシテハ實際アチヌノ學問ヲ取ル以上ニハ、大ナル關係且ツ差支ヲ生ジマスコトデアリマスカラシテ、總テドウゾ原案ノ通可決ニナランコトヲ希望致シマス

○渡邊洪基君(四十一番) 唯今辻政府委員ガ申シタ通、此語學ノ教師ハ外人ヲ削ルコトハ甚ダ分ラヌ、是ハ外國人デナケレバイケナイ、外國語學ハ……(演壇ニ登リ給ヘト呼ブ者アリ) 簡單デスカラ……

○有友正親君(百七十二番) 一向説明ガ分リマセヌデス、モウアレデ言ハヌノデスカ、主査ノ説明ヲセヌノデスカ

○天春文衛君(二百三十一番) 本員モ第二科ノ一人デゴザイマスカラ、本員カラ説明致シマス

○議長(星亨君) 二百三十一番

○天春文衛君(二百三十一番) 高等中學校ノ方ハ原案……

○議長(星亨君) 大學カラ原案第十ト云フ五頁ノ所……

○天春文衛君(二百三十一番) 原案ヲ讀ミテ致シマス、原案デハ大學校ノ方デハ六頁第三項目ニゴザイマス、是ガ一ツト、ソレカラ其次ハ七頁ノ又第三項目デ、是トソレカラシマシテ高等商業學校ノ部デハ八頁ノ高等商業學校ノ八頁ノ矢張三項目ニ當ルデゴザイマス、其次ニハ此九頁ノ第二項目ニ當ル高等中學校ノ分デゴザイマス、之ヲ削除致シマス

○議長(星亨君) 九頁デスカ、何頁デス

○天春文衛君(二百三十一番) 九頁、ソレノ高等中學校ノ第三項目ニ當ル、第一高等中學校ノ三項目デアリマス

○長谷川泰君(百七十二番) 二百三十一番ニ一寸質問致シマス、一寸二百三十一番ニ御尋ヲ致シタウゴザイマスガ、此大學ノコトデゴザイマス、獨逸語學ノ教師ハ從來ハ囑託デアルカラ、ソレヲ繼續ト云フモノニ改メズトモ宜イ

ト云フヤウニ聽キマシタガ、サウデアリマスガ、如何デアリマス

○天春文衛君(二百三十一番) 今百七十二番カラ御尋ノ通デアリマシテ、從來ハ矢張囑託ニナツテ居ルノデアリマス、故ニ雇入ノ契約ヲシナグトモ必要デアレバ、又從來ノ如ク囑託ニシテ置イテ差支ナイモノト見タノデアリマス、更ニ契約ヲ結ブニ及バヌト云フ主意デアリマス

○長谷川泰君(百七十二番) 一寸政府委員ニ御尋申シマス、唯今二百三十一番ガ御述ニナリマシタ通、別ニ囑託ヲ雇入ニセズトモ獨逸學佛蘭西學ニ長ジテ居レバ、少シモ差支ナイモノト思ヒマスガ、之ヲ雇入ニ御改ニナルノハ如何ナル理由デアリマスカ一寸之ヲ伺ヒマス

○渡邊洪基君(四十一番) 一寸削除説ニ對シテ辯明致シタウゴザリマスガ、演壇ニ參ッテ宜シウゴザリマスカ

(渡邊洪基君演壇ニ登ル)

○長谷川泰君(百七十二番) 政府委員ハ本員ノ質問ニ對シテ御答ガナイノデアリマスカ

○政府委員(辻新次君) 何ンダカドウモ分リマセシマシタ

○長谷川泰君(百七十二番) 二百三十一番ノ申サレル所デハ囑託ヲ雇入ニセズトモ、金サヘヤレバ宜シイカラ獨逸學佛蘭西語學ノ教授上ニハ少シモ差支ナイト云フ主意デアリマスガ、ソレデ其囑託ヲ更ニ雇入ニ御改ニナルノハ、如何ナル理由デアリマセウカ、其理由ヲ一寸伺ヒタイ

○政府委員(辻新次君) 一寸御答ヲ致シマス、囑託ヲ雇入ニスルニハ種々理由ガアリマスガ、矢張本當ノ教師ト云フコトニシナケレバナラヌ必要ガゴザリマシタルノデス

○議長(星亨君) 是ヨリ渡邊君ニ許シマス

○渡邊洪基君(四十一番) 唯今削除シマシタノハ孰ヲ削除シタカ解リマセナカッタ、處ガ段々解ッテ見ルト不都合ナ削除デアリマス云フノハ、即チ參考書ニ依レバ獨逸文學ノ擔當ガ一人、ソレカラ伊太利語學獨逸語學擔當ノ者ガ一人、又英語學擔當ノ者ガ一人、ソレカラ佛語及佛文學擔當ガ一人デス、是ハ實ニ外國人デナケレバ仕樣ガナイノデス、本員ガ則チ擔當シテ居ッタ時ニモ……、ドウレテモ語學デアリマスカラシテ、之ニ外國人ヲ雇ハズシテ、日本人ニ語學ヲ習フト云フコトナ不都合ナ事ハナイデス、是等ハ削ルニ事ヲ缺イデ非常ナモノヲ削ッテ仕舞ッタ、左スレバ全ク此等ヲ佛語ナリ獨逸語ナリ、語學ヲ廢スルト同ジコトデアアル、(觀解キヤト呼ブ者アリ) 要ラヌト云フコトナラバ格別、サモナケレバ連モ出來ナイ話デアアル、況ヤ唯小學校ヤ低イ所ノ學科ノ所ナラバマダシモデアアルケレドモ、大學ノ苟モ語學ヲ教フルニハ日本人デ教フルト云フコトハ誠ニ不利益デアアル、教ヘラレナイ事ハナイガ……、故ニ私ハ矢張原案通復セラレンコトヲ希望致シマス

○長谷川泰君(百七十二番) 一寸渡邊君ニ御尋致シマス、渡邊君ノ御述ニナリマシタノハ二百三十一番及政府委員ノ述ベラレタノト大層御開キガアル様

デゴザリマスガ、(笑聲起ル)豫算委員ガ言ハレル所デハ唯名義ガ變ハルノミ
デ、囑託モ雇入モ同シコトデアル、金ヲ削ルト云フノデハナイ、佛蘭西文學
獨逸語學ノ教授上ニハ少シモ差支ナイト云フ、政府委員ハ本員ノ質問ニ對シ
テ御答ノアルニハ、色々ノ……囑託デハ本當ノ教授デナイ、眞ノ教授ニ改メ
ナケレバナラヌト云フコトデアリマス、ドチラモ削ルト云フ譯デハナイカ
○渡邊洪基君(四十一番) ソレデハ序デナガラ事情ヲ申上ゲテ置キマス、(長
谷川泰君渡邊君ハ削ルト御考ニナツタノデアリマス)サウデス、教師ニシ
ナケレバ往ケンデス、實際サウデナケレバ囑託デハイヤダト云フ人ガ幾ラモ
アリマス、私ハ内實ヲ能ク知ツテ居リマスガ、是ハ教師ニ雇入ガナケレバナ
リマセヌ

○角利助君(百七十一番) 一寸尋ネタイ、サツバリ解ラヌ事ガ出來マシタ、此
事柄ハ先日カラ色々説明ガアリ掛ツテ止マツタガ、本當ニ委シイコトヲ豫算
委員カラ演壇ニ登ッテ詳細ニ辯明ヲ望ミマス、ドウモ解ラヌ、既ニ渡邊君ノ
如キ説モアル、又削ッテモ同シクト云フ説モアル

○議長(星亨君) 豫算委員ガ言ヘバ宜シ、言ハナケレバ同シコトデアリマス、
否決シテモ……可決ニデモ

○今井磯一郎君(百九十番) 何番デスカ、實ニコンナ解ラヌト云フノハ、先
刻何員ノ何枚目何項ト云フコト迄言ハナケレバ解ラヌト云フ主意デアリマス
カ、之ヲ削除シテ主意ガ解ラナイト云フ譯デアリマス、御尋致シマス、實ニ
豫算委員ハ斯ノ如ク何員迄ト云フコトモ報道セイデモ宜イト心得デ……(笑
聲起ル)

○角利助君(百七十一番) 削除シタ理由ガ聴キタイ、頁ハ言ハンデモ解ッテ
居リマス

○今井磯一郎君(百九十番) 削除シタ理由ト云フモノハ、斯ノ如ク之ヲ認可
ヲ與ヘナイト云フモノハ、此規定シタ二名ノ如キハ雇入ヲ要スルニ及バヌ、
其及バナイ事柄ハ囑託デモ是迄濟ンデ居リマス今此會ニ向ッテ今日必ズ雇入
デナケレバナラヌト云フ旨ガナイ、實際差支ガナイ、是迄通デ宜シイト云フ
ノデアリマス

○天春文衛君(二百三十一番) 百九十番カラ述ベラレマシタノハ、委員會ノ
何ヲ少シク取違ヘテ述ベラレタ様デアリマス、全ク委員會ノ意見ト申レマ
スルモノハ獨逸文學ト云フモノハ、即チ帝國大學ノ中ノ第三項ノ獨逸文學ト
云フモノハ、是ハ現今デハ囑託ニナツテ居リマシテ、雇入ノ契約ヲシテナイノ
デアリマス、故ニ更ニ今般雇入ノ契約ヲシヤウト云フ原案デゴザリマス、故
ニ斯様ナ契約ヲシテ雇入ニシナイデモ從前通り囑託デ宜イ、雇入ノ契約ヲ結
ブニ及バヌト云フノデ、二項ヲ削ッタノデアリマス、(今井磯一郎君同シ事デ
スト呼ブ、同シ事ハ一ツ事ダト呼ブ者アリ)雇入トハ少シ違ヒマス

○議長(星亨君) ドウデス、決ヲ採ルコトニシテハ
○田中島雄君(五十九番) 後來ノタメニ政府委員ニ質問致シタイ

○議長(星亨君) 決ヲ採ルコトニシタガ、ドウデス(採決々々ト呼ブ者アリ)
○田中島雄君(五十九番) 一應政府委員ニ質問シタイ
○議長(星亨君) モウ決ヲ採リマセウ、止メタラドウデス
○田中島雄君(五十九番) 後來ノタメデアリマスカラ
○議長(星亨君) ソンナラ後來ノタメニ一寸

○田中島雄君(五十九番) 一寸デス、本員杯ハ最モ特別委員ノ修正シタ所ニ
同意シマスルガ、少シ其事ハ篤ト委員會ニ於テ政府委員モ御出席ガアリマシ
テ、ソコデ豫メ議論ノ節モ政府委員ハ耳ニ挾ンデ是迄ニナツタコト、承知シ
テ居ルト考ヘル、然ル所豈圖ンヤ唯今ノ所デハ孰ヲ削ルト云フコトモ政府委
員ハ知ラヌ、是ハドウ云フコトデ政府委員ハ特別委員會ニ御出席ニナツタ
斯ウ云フコトデアリマスルト云フト、實ニ今後ノ特別修正説ニ——政府委員
ガ委員會ニ臨ンデノ處置トシテハ如何ナルモノデアリマセウカ

○議長(星亨君) 五十九番デアリマス、質問デナク注意ナラ差止メマス
○田中島雄君(五十九番) 注意デハナイ、政府委員ハ知ランカラデス……
○議長(星亨君) 知ラヌカラドウシヤウ、斯ウシヤウト云フコトヲ注意スル
コトハナイ、ソレハ質問デナイト議長ハ見認メマスカラ決ヲ採ルコトニ致シ
マセウ、第十項ハ今會議ニ登ッテ居ルノデゴザリマス、其内削除モアリ修正
モゴザリマスカラ、先ツ修正ノ部分ヨリ決ヲ採リマス、即チ第十項ノ其内ノ
末項ノ處カラ、第二項ニ中村君ノ修正案ハ……

(水野書記官朗讀ス)

一名ハ明治二十五年(契約ニ定)ヨリ向三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額五百
圓ヲ支給シ備入年度ニ於テ來航費六十五拾圓又滿期解備年度ニ於テ歸國旅
費六百五拾圓ヲ支給ス

○議長(星亨君) 今朝讀シタ如ク中村君ヨリ修正スルコトノ動議ガアリマス
カラ、此動議ニ賛成ノ方ハ起立ナスッテ……

○長谷川泰君(百七十一番) 一寸決ヲ採ル前ニ……
○議長(星亨君) ソレハモウ……モウ一遍言ヒマスガ、中村君ノ動議ガアリ
マスガ、其動議ニ賛成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、是ハ動議ガ成立ヌ、是ヨリ委員ヨリ削除
ノ説ガ出テ居マスガ、之ニ就イテ二項ゴザリマスカラシテ、其二項ニ就イテ
即チ決ヲ採リマスガ、二項ハ既ニ第十ノ内一二三目ト四目カラノ末項、
之ガ即チ削除ト云フコトデゴザリマスカラシテ、此三項ト四項目ノ原案ニ就
イテ決ヲ採リマス、削除ニ賛成ノ方ハ起立シナイデ、ソレデ此原案ニ賛成ノ
方ハ起立ナスッテ……

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト見認メマス、即チサウスレバ削除ト云フコトニナリ
マス、即チ委員會ノ通ニナリマス、其後トハモウ原案通テ別ニ修正モゴザリ

マセンガ、別ニ御議論ガナケレバ(異議ナシト呼ブ者アリ)可決致シタモノト致シマス、是ヨリ第十一項是ハ朗讀ヲ致シマセヌ

○柏田盛文君(百四十四番) 簡單デスカラ、此處デ……

○議長(星亨君) 左様、——簡單デアルナレバ宜シイ

○柏田盛文君(百四十四番) 此高等商業學校ノ雇デアリマスガ、私モ豫算委員會ニ於テモ此高等商業學校ハ他ノ學校トハ違テ外國人ガ必要デアルト存シテ原案ヲ維持シタガ、少數ヲ消滅シマシタケレドモ、尙ホ本會ニ向テテ原案ノ至當ナルコトヲ申陳ベテ原案ヲ維持致サウト思ヒマス、我國ハ素ト地形カラ見テモ遠ニハ商業ヲ以テ國ヲ建テナケレバナラヌト云フコトハ、夙ニ識者ノ認メテ居ル所デゴザリマセウ、要スルニ商業學校ト云フモノハ我邦ニ於テハ益、發達ヲ謀ラナケレバナラヌ(此時聲ガ低クテ聞エヌト呼ブ者アリ)性質ヲ帶ビテ居ル國柄デアアル、然ルニ此性質ニ反シテ今アル所ノ三人ノ者ヲ一人削ルト云フハ、全ク其目的ニ反シタモノデアルト私ハ考ヘル、實ニ先キニ申シタ通外ノ學校トハ違テ、我國ノ高等商業學校ハ今後外國ニ關係ガ多クナルカラ、此語學ト云フモノ、必要デアルト云フコトハ外ノ學校ノ類デアアリマスマイ、シテ見ルト此高等商業學校ニ於テ雇外國人三名ヲ一名削ルト云フハ、全ク其目的ニ背キタル者デアアル、即チ國ヲシテ益、商業ヲ盛ンニシ、歐米諸國ヲシテ歆視セシムルト云フ目的ニ反シタモノデアト私ハ考ヘル、ツレデ此一人ト云フ者ハ伊太利語ヲ遺ルノデアアル、伊太利ハ新興國デアツテ商業國デアツテ、是カラ益、日本トノ關係ヲ頻繁ニ爲スコトハ當リ前デアアル、サウシテ見レバ之ヲ置クコトハ必要デアアルカラ、原案ニ復スコトヲ希望シマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○渡邊洪基君(四十一番) 私モ是ハ原案ニ復スコトヲ希望シマス、ツレデ是ハ囑託デアラウト考ヘマスガ、囑託トカ契約トカ云フコトハ其時ノ都合ニ依ルコトデ、是ハ成ル可ク行政官ニ委任セニナル様ニ致シタイ、實ニ都合上囑託ニシテ却テ都合ノ宜イコトモアリ、契約ニシテ都合ノ善イコトモアル、此等ノ事ハ金サヘ變ラナケレバ餘リ其囑託トカ契約トカ云フコトハ、ツレ程喧シク言フニ及バヌト考ヘマス

(採決々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマセウ、第十一項ノ末項ハ委員會デハ削除ノコトニナツテ居リマス、依ッテ原案ノ決ヲ採マスガ、即チ末項ハ——末項ニ附イテ原案ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ……

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、依ッテ削除スルコトニ決シマス、尙ホ此十一項ノ一二ハ別ニ修正ハゴザリマセヌカラ、原案通デ宜シイナラバ……

(宜シイ宜シイト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ツレナラバ宜シイ、ツレハ原案通トシ、是ヨリ第十二——

御議論ガナケレバ決ヲ採リマセウ

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) サウスルト是ニモ委員會ノ方デハ少シ削除スルコトニナツテ居リマスガ、原案ニ賛成ノ方ハ起立ナスッテ

起立者 少數

○議長(星亨君) 餘程少數ト認メマス、ツレカラ第十二項ノ中ノ一項二項ニハ別ニ修正モゴザリマセヌカラ、是ハ原案ニ決シタルコトニ致シマス、是ヨリ第十三、是ハ別ニ修正モゴザリマセヌ、ズット第十三ヨリ十七迄會議ニ掛ケマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 然ラバ皆原案ニ可決致シマス、是ヨリ本ニ戻ッテ是ハ豫算ノ本文トモ云ヒマス、之ニ附イテ決ヲ採リマス

(乙號デスカト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 是ハ朗讀ハシタサウデス、此中デ諸君ニ御諮リ申スハ金額ハ色々削除等ガアリ、修正等ガゴザリマスカラ、其結果トシテ此金額ハ違ッテ居ル、ツレハ孰コナラノ手許デ直スコトニ致シマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ツレデハ唯今即チ少シ間違ヒマシタ之ヲ乙號丈ノ確定議ヲシテカラ總會議ニシヤウト思フ、乙號ノ即チ確定議丈ヲ決シタイト思ヒマス、ツレカラ議スルガ本當ト思ヒマス、ツレデ乙號ノコトニ就イテ確定ニナリマスガ、別ニ御異議ガナケレバ確定ト認メマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○佐々木正藏君(百八十八番) 本員ハ矢張確定議丈ハ今日致サヌコトヲ望ミマス

○議長(星亨君) モウ既ニ濟ミマシタコトデアリマスカラ、總體ノ所ニ掛ッテ、決ヲ採ル順序ト致シマス

○田庭吉君(百二十四番) 甲號デスネ

○議長(星亨君) 甲ト乙デス

○田庭吉君(百二十四番) 今乙ハ採ッタ様デス

○議長(星亨君) 甲モ乙モ確定議迄採ッテ、ツレガ第一條第二條トナツテ來ルノデス

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 別ニ御異議ガナケレバ、一昨日カラ今日迄修正シタルモノニ確定シタモノト認メマス

○議長(星亨君) 是ヨリ特別會計ノ追加豫算ニ移リマス朗讀ヲ……

(町田書記官朗讀)

特別會計豫算

明治二十五年陸軍省所管大阪砲兵工廠ノ歳入歳出豫算追加額ヲ各六拾四

萬四千四百拾六圓七拾六錢壹厘ト定ム其款項ノ金額ハ別紙歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

○議長(星亨君) ツレカラ陸軍省所管ト云フ所ニ移リマスガ、朗讀ヲ省キマスガ矢張歳出ノ方カラシテ會議ニ掛ケマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ツレナラ決ヲ採リマス、即チ委員ノ修正説ガゴザイマシテ、總テ修正説ガゴザイマス、此修正説ニ御同意ノ方ハ起立ヲナスツテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 大多數ト認メマス、修正説ニ決シマス、是ヨリ進ンデ歳入ノ方ニ移リマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 是ヨリ御異議ガナケレバ決ヲ採リマスガ、歳入ノ方ニハ修正シタノト修正シナイモノガアリマスカラ、別々ニ決ヲ採リマス——第一項ノ修正ノ方ニ同意ノ方ハ御起立ヲ願ハウ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メル、二項ハ別ニ修正モゴザイマセヌカラ異議ガナケレバ之ヲ決シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○佐々木正藏君(百八十八番) 甚シイ粗漏デゴザイマス、固ヨリ之ニ異議ナシト云フテ立ツ理由ハナイト思ヒマス、既ニ軍艦製造費ヲ削除シテアル、是丈ハ即チ修正説ト違ッテ居ル

○議長(星亨君) ドレガ

○佐々木正藏君(百八十八番) 歳入ト云フノハ、即チ本案ノ歳入デゴザイマセウ

○議長(星亨君) サウデハナイ、今特別會計ノ方ノ……ツレデハ是カラ確定議ニ移リマセウト思ヒマスガ、別ニ御異議ガナケレバ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 確定シタモノト認メマス——ツレデハ確定致シマス、今朝讀ヲ致シマシタ本文ノ方ハ修正ガゴザイマシタカラ、孰レ此金額等ハ此修正通ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、ツレハ此方デ直スコトニ致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ツレデ諸君ニ御諮リ申スコトガアリマスガ、マダ通例ノ時間ヨリハ三十分程早ウゴザイマスガ、昨日モ随分遅クナリマシタカラ今日ハ(賛成々々ノ聲起ル)御異議ガナケレバ……散會致シマスカト云フ話デ、マダ散會ハ致シマセヌ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) ツレナレバ明日ノ議事日程ヲ朗讀致シマス

(水野書記官朗讀)

- 第一 震災地方租税特別處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
 - 第二 版權法案 第三讀會
 - 第三 政談集會政社法案 第一讀會ノ續(特別委員)
 - 第四 府縣制改正法案(朝長愼三君外三名提出) 第一讀會
- 議長(星亨君) 是デ散會
午後五時二十七分散會

衆議院速記録第十三號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
二六三	下	二六	二十三年	二十五年	二六四	下	八	急	正
二六三	下	二九	八十五万	八十五万	二七四	上	二六	次郎	治郎
二六三	下	四二	置イ	置イテ一	二七四	上	二八	次郎	治郎
二六四	上	三	アルカルガ	アリタルガ	二七四	上	三二	次郎	治郎
二六四	上	四三	五日	九日					

